

昭和三十年三月刊

史料館所藏史料目錄

第四集

史料館

史料館所藏史料目錄

第四集

凡例

- 一 本目録は史料館收藏史料目録第四集として阿波蜂須賀家文書と雲州松平家文書の二篇を収めた。共に近世大名の史料で、その詳細の説明は巻尾の解題に譲る。
- 一 史料は利用上の便宜を考慮して、各文書の内容・体裁・數量等に應じ、暫定的な内容項目を建てて分類排列し、大小ゴシック活字及び○印を用いて之を表示した。
- 一 各史料はその主要内容に従い所屬の項目に収めたが、内容が多岐に亘り他の項目中にも掲げるを妥當と考えたものは*印を附して重出した。
- 一 史料の記載欄は(一)表題、(二)作成者或は宛名、(三)作成年次、(四)形態、(五)數量、(六)整理番號の順序である。
- 一 表題は原名あるものはこれを探り、その無いものは假に命名して掲げた。この場合(一)括弧を附して前者と區別した。
- 一 原表題に國郡村名、干支年月等の肩書ある場合は、適宜これを省略したこともあり、誤字・宛字などもこれを改め、同一内容の一連史料にして表題に多少の異同のある場合は代表的表題に統一表示したものもある。又その内容により(控)(寫)(下書)等の補註を加えた。
- 一 作成者又は宛名は表題から推知しうるものは之を省略し、特に必要がある場合のみ示した。
- 一 作成年代は年のみにとどめ、干支・月日は特別の場合を除き省略した。簿冊等の記載期間が數ヶ年に亘るものは、始終の年を掲げ——を以て繼續を示した。又推定年代・書寫年代には(一)括弧を附した。
- 一 史料の形態は紙(繼目の有無に拘らず)又は卷子本などは特殊の場合を除き寸法を省略し、通又は巻をもつて數量のみを示した。冊子・帳簿類は、横(横帳)、横長(横長帳)、美大(美濃大判)、美(美濃判)、美半(美濃半截)、半(半紙判)、半半(半紙半截)等の略稱によつてその原形の大きさを示すにとどめ、墨付枚數は特別の場合の外はこれを略した。
- 一 地圖・繪圖類は縦横の寸法を糲で示したが、時に省略に従つたものもある。
- 一 最下欄の數字は各文書毎の整理番號を示す。本史料の照會・閲覽・引用の場合利用されたい。
- 一 末尾に各文書の解題を添えた。參看されたい。

目次

凡例

阿波蜂須賀家文書目錄……………一頁

雲州松平家文書目錄……………五三

蜂須賀家文書解題……………五七

松平家文書解題……………六九

阿波蜂須賀家文書目錄

蜂須賀家文書目錄目次

領知	判物・領知目錄	一頁
	鄉村高辻	二
	出目新田高	二
	村付帳	二
	分知	二
	道法	二
藩侯		
	系譜	三
	歷代年譜	四
	名書	四
	家督	四
	官位	五
	吉凶・佛事	七
	祝儀	七
	葬祭	八
	法要	八
	規式	九
	禁裏	九
	公儀	九
	藩主	九
	勤役	一一
	參觀	一一

	誓紙	二
	參詣其他	二
	火之御番	三
	御手傳普請	三
	異國人來朝	三
	寛永將軍上洛御供	三
	御預人	三
	獻上・拜領	三
	公儀狀	四
	御内書	四
	奉書	四
	御達書	四
	交際	四
	歷代書狀	五
	文事	六
	御日記	六
	輿日記	六
	鷹野・鹿狩	六
	御道具	七
	城郭	七
	屋敷	七
	藩校	七
	雜	八

	法制	
	幕法	八
	藩法	九
	裁許所	三
	裁許所定書	三
	裁許所記錄	三
	出入文書	三
	元居書拔	三
	職制	三
	役制	三
	勤用記	三
藩政		
	直仕置	三
	草案	四
	御仕置所	五
	家老・年寄御用狀	六
	御側御用	六
	江戸留主居	七
	元所	七
	横目・目付	七
	郡所	七
	郡所記錄御定書	七
	地方一件	八

地方取調	三六
番所	三六
町奉行所	三六
勘定所	三六
御藏所	三六
普請奉行	三六
御納戸支配	三六
御刀番	三六
奥小姓	三六
御墓山御番	三六
御巡見	三六
公儀巡見	三六
藩巡見	三六
土地・山林	三六
戸口	三六
貢租	三六
高物成	三六
町役	三六
財政	三六
收支	三六
拜借	三六
銀札	三六
産物・專賣	三六
御用商人	三六
褒賞	三六
建白	三六

雜	三七
軍事	三七
武備・軍法	三七
軍役	三七
武器具	三七
焔硝藏	三七
馬	三七
戰陣	三七
長會我部征伐	三七
朝鮮出兵	三七
大坂陣	三七
島原陣	三七
海防	三七
藩士	三七
分限帳	三七
知行	三七
拜知水帳	三七
扶持	三七
高役	三七
高役	三七
格式	三七
勤仕	三七
由緒・勤功書上	三七
任免	三七
誓紙	三七

相續	三九
賞罰	三九
規式	三九
屋敷	三九
浪人	三九
雜	三九
交通・通信	三九
海上交通	三九
通信	三九
寺社	三九
寺社領	三九
由緒其他	三九
繪圖	三九
國圖	三九
國境繪圖	三九
御城繪圖	三九
御役所繪圖	三九
御屋敷圖	三九
國元御屋敷	三九
江戸御屋敷	三九
拜領屋敷	三九
村役人屋敷	三九
城下繪圖	三九
水普請繪圖	三九
其他の繪圖	三九
雜	三九
附錄 徵古雜抄	三九

蜂須賀家文書目錄

領知

判物・領知目錄

台德院様 (秀忠) 御判物寫	至鎮宛	元和三	二通	八七(一)・二六六
大猷院様 (家光) 御判物寫	忠英宛	寬永一一	二通	八七(二)・三〇〇
嚴有院様 (家綱) 御判物寫	光隆宛	寬文四	二通	八七(三)・三〇〇
領知目錄 寫共	寬文四		二通	八七(四)・三〇〇
常憲院様 (綱吉) 御判物寫	綱矩宛	貞享元	二通	八七(五)・二五五
領知目錄 寫共	貞享元		二通	八七(六)・二五五
文昭院様 (家宣) 御判物寫	綱矩宛	正德二	二通	八七(七)・二五五
領知目錄 寫共	正德二		二通	八七(八)・二五五
御判物寫并御領知目錄寫	正德一		一冊	二五(一)
有德院様 (吉宗) 御判物寫	綱矩宛	享保二	二通	八七(九)・二五五
領知目錄 寫共	享保二		二通	八七(一〇)・二五五
惇信院様 (家重) 御判物寫	宗鎮宛	延享三	二通	八七(一一)・二五五
領知目錄 寫共	延享三		二通	八七(一二)・二五五
凌明院様 (家治) 御判物寫	重喜宛	寶曆一一	二通	八七(一三)・二五五
領知目錄 寫共	寶曆一一		二通	八七(一四)・二五五

領知判物・領知目錄

文恭院様 (家齋) 御判物寫	治昭宛	天明八	一通	一六〇
領知目錄 寫共	天明八		一冊	一六〇
慎德院様 (家慶) 御判物寫	齋昌宛	天保一〇	一通	一六三
領知目錄寫	天保一〇		一通	一六三
温恭院様 (家定) 御判物寫	齋裕宛	安政二	一通	一六五
領知目錄	安政二		一通	一六五
昭德院様 (家茂) 御判物寫	齋裕宛	安政七	一通	一六七
領知目錄	安政七		一通	一六七
○ 綱矩様御代御判物御領知目錄鄉村帳寫御指出御控 (元和二以降)			二通	八八
御代々様御判物寫・御領知目錄			一冊	一七〇
御判物御日附 (天明八)			一冊	一七〇(一)
○ 御判物并御目錄寫御指上之一卷	貞享元		一冊	一七〇
御判物御頂戴一卷之覺書	貞享二		一冊	一七一
(御判物御指出二付) 裁許所記錄控	享保一五		二通	一七二
公儀御代替御判物頂戴之式	寶曆一一		一冊	一七三(一)
公儀御代替二付御代々様御判物江戸表へ御取寄 被遊候節之往返控	寶曆一一		四通	一七四
(御朱印頂戴之節御席順御問答書)	寶曆一一		二通	一七五(一)

御代替ニ付御判物御指出一條留 嘉永七 美 一冊 一七五
御判物御寫之義ニ付被問候取扱方書付 嘉永七 美 一通 一〇四

鄉村高辻

阿波國鄉村田畠高辻帳 寛文四 美 一冊 六九

阿波淡路兩國鄉村高辻之帳 享保元 美 一冊 六六

御兩國鄉村高辻帳 寶曆二 美 一冊 六七〇

阿波淡路兩國鄉村高辻之帳 天明七 美 一冊 六七〇

阿波國淡路國之内鄉村高帳 天保五 美 一冊 六七〇

阿波淡路兩國鄉村高辻之帳 天保九 美 一冊 六八

○ 鄉村御帳ノ高并町歩人數御改御帳之辻當時御高物成帳 享保一五 美 一冊 六五

○ 阿波淡路兩國惣高目録 寛永一〇 美 一通 二〇七

阿波淡路御兩國鄉村御帳御指上節覺書帳 正徳元 美 一冊 六四

鄉村帳指上并御判物頂戴一卷控 享保元 半全 假一冊 六三〇

出目新田高

阿波國淡路國出目新田畠高帳 目録共 寛文四 美 四冊 六〇

阿波淡路兩國在々古田出目并新田高帳 寛文四 美 三冊 六〇

(阿波淡路兩國古田畠并新田畠高覺) 寛文四 美 五通 六一

阿波淡路兩國古田畠出目新田畠之帳 享保元 美 二冊 六三〇

村付帳

板野阿波美馬三好四郡村付帳 享保一六 美 一冊 七五(一)

勝浦那賀海部三郡村付帳 享保一六 美 一冊 七五(二)

名東名西麻植三郡村付帳 享保一六 美 一冊 七五(三)

淡路御國郡數村數帳 享保一六 美 一冊 七五(四)

○ 阿波國十郡改覺書 寛文四 美 一冊 七四

公儀之御指出御兩國灘續村浦寫帳 外書付文通共 寛政六 二冊 一綴 七三

分知

飛驒守之被進御地方之御帳 天和二 美 一冊 六三

飛驒守様之被進御地方之藪御帳 天和二 美 一冊 六一

飛驒守へ新田分知之義淡路守口上書控 貞享元 半 三通 八四〇

要用之御帳并御書付之目録 貞享元 半 一冊 四四

○ 於阿波淡路所々知行高之帳 慶安三 美 一冊 四七五

因幡守様(光隆)御領分高并當物成之御帳 慶安三 美 一冊 六一

道法

阿波國淡路國海陸道度帳 明曆三 美 二冊 七〇

阿波淡路海陸帳

諸國道法之書拔

藩 侯

系 譜

(蜂須賀氏系圖)	寬永一八	美	一冊	七〇九
寬永度御系譜			一通	八三三
系譜 寬政一		美	一冊	六〇〇
系譜 寬政四		美	三冊	六三三(五)
系譜 寬政一		美	二冊	六〇〇(八)
系譜 寬政一		美	一冊	四
系譜添書 寬政一		美	三冊	八一九(二)
添書 寬政一		美	一冊	一九(四)
系譜 弘化三		美	二冊	六〇九
系譜添書 弘化三		美	一冊	一九〇(〇)
系譜添書 弘化三		美	一冊	三〇
(蜂須賀氏系圖)			一卷	八二
(蜂須賀氏系圖)			一卷	八四(一)
蜂須賀系圖			一通	八三(一)
御系圖			二通	八三(二)

蜂須賀家御系圖 全

(蜂須賀氏年譜)

系譜

蜂須賀氏系譜

分知蜂須賀飛驒守系譜 寬政二

分知系譜 寬政一

分知蜂須賀飛驒守系譜 寬政一

○

寬永年中諸家系圖林大學頭殿ニ有之候内御家之分御寫ニ相成候御帳

寬永十八年公儀御指出被成候御成立書并附錄 寬永一八(天保一三写)

諸家系譜差出候様と之御觸寫 寬政元

(御系譜之御觸ニ付差出相濟控) 寬政二

(御差出系譜年號相違ニ付御書改御書付) (寬政二)

寬政四年閏二月十日御系譜御書足シ御達有之同年四月二日御差出相濟控 寬政四

御系譜御用帳 (寬政一一)

寬政度御調之節御草案より書拔候御察文別帳御系圖寫ニ引取候品 弘化三

(御系圖指上ニ付御調文通并書付)

御感狀并御書之寫御指上之次第 (貞享元)

美	一冊	二
美	一通	八二六
美	二冊	一七(一〇)
美	一冊	六(一〇)
美	一冊	一五(一)
美	二冊	一六
美	一冊	一五(一〇)
美	一冊	三
半美	二冊	六
美・半	一冊	三五
美	一冊	五
美	二通	八〇
美	一冊	三三
美	一冊	七
美	一冊	三
美	一綴	八三
美	一冊	八六

御一門様御續書

屬籍

當家大祖 附御先祖様御戒名御命日

逝族

旗之紋幕之紋家之紋替紋

歷代年譜

(蜂須賀至鎮年譜)

系譜(至鎮) 寛政一一

御年譜寫(光隆一綱通)

御年譜(忠英一綱通)

譜系(忠英・光隆・綱通)

綱矩年譜略

操山様御年譜

年譜略附錄(綱矩)

吉武年譜略

宗員年譜略

蜂須賀齊裕略歷

(御家舊記書拔寫) 享保一〇他

華族會館之差出候茂韶親族書控 明治九

蜂須賀茂韶親類書并履歷書 明治三三

蜂須賀茂韶樞密院在官中履歷書 大正七

美 一冊 一四七

橫長美半 一冊 一四五

美 一冊 六

橫長美半 一冊 一四五

美 一冊 元

美 一卷 八五

美 一冊 六(七)

一通 八八

一冊 八九

一通 八四(一)

美 二冊 三

美 一冊 三

美 三冊 九

美 二冊 二〇

美 一冊 二

半 一冊 一四三

美 三冊 三九

美 一綴 一四〇

美大 一綴 一四八

美大 一冊 一四九

戴公様御續書(茂韶)

(蜂須賀隆重年譜)

寬樂様御成立書

隆長公御傳記 草稿

(足利氏系圖)

名書

光隆様於殿中被仰出覺

實名(假名付)

(御稱號拜領日附)

喜三太様安之丞承様之御名被爲進御目錄之控并御次第書附 寛政六

御名目錄寫 寛政七

御名歸納字 文化六

御一字御稱號寫 文化六

家督

(光隆公)御元服之御次第并御家督之御次第書

正保四一承應元

御元服御目見御官位初て御暇御湯治御家督被仰付

并御暇ノ書付(承應)

當家之嫡子備り并屋敷引拂等之一卷 享保一〇

美 一冊 一四六

一卷 八七

橫長美 二冊 三五

美 一冊 二四

二通 八三

美 一冊 八七

一冊一通 八八

半 一冊 一七(三)

三通 二八

一通 八五(一)

一通 八五(二)

二通 八九

二通 三四

一通 八七

美 一冊 元

美 一冊 三(六)

宗員樣御嫡子御以來之御書控 享保一〇 美 一冊 三(七)

宗員樣御代綱矩樣御隱居一卷 享保一三 美 五冊 三

宗員殿家督祝義老中招請・後日一類中招請之控 享保一三 美 一冊 三

(宗員樣御家督一件)書付 美 一冊 一〇

(養子願)覺帳 元文五 美 一冊 五

文太郎樣養子御願御一卷書拔 寬保三 美 一冊 三

宗鎮樣御代帶刀樣御嫡子御願一卷并内匠頭樣御退身御願一卷書拔 美 二冊 三

養子一卷控 寶曆一 美 一冊 三

重喜樣御代御假御養子御願一卷 寶曆五十六 美 六冊 八

重喜樣御隱居治昭樣御家督一卷御帳 書付共 明和六 美 二冊・元(一)三

重喜樣御隱居御家督一件 明和六 美 八冊・元

松平阿波守治昭家督相續ニ付御指出被成候御明細書 外ニ松浦殿御書付寫 明和七 美 三冊 八

禮山樣御死去後喜三太樣御身分之義ニ付被進候請書 書付共(天明八) 美 五冊 八

長州樣御後見中御控 寬政三十四 美 二冊一綴 四

(隱居家督政事之儀御讓渡ニ付)書附(寬政) 美 一通 八

(治昭隱居家督讓渡之節)書付 文化二〇 美 一通 八

(齊昌隱居家督讓渡之節)書附 天保一四 美 一通 八

御家督御大禮心覺帳 天保一四 美 一冊 一〇

(松平阿波守跡式願) 慶應四 美 一通 一三

(隱居家督被仰付候ニ付)御書之控 美 三冊 八

諸家隱居聞合書 美 四冊 八

防州・長州松平義次郎樣御領國御目附樣御引請之記 寬政三十四 美 一冊 一〇

(飛州樣御分知之節御趣意書他) 延寶六 美 三冊 八

飛州樣御養子御願御紙面之寫 元祿二二 美 三冊 八

飛州樣之被進候新田五萬石之内ニテ御公儀御役不被為成候越之御書付(貞享元) 美 三冊 一〇

寬樂樣御隱居御願一卷御帳 美 一冊 三

官位

(忠英叙從四位下任阿波守口宣案) 元和九 美 二冊 八

(忠英任侍從口宣案・宣旨) 寬永三 美 三冊 八

(光隆敘從五位下口宣案・位記) 正保五 美 一〇冊 八

光隆樣御官位并御前髮被為執候ニ付西尾左京へ被下候書付 慶安元 美 一通 八

(光隆敘從四位下任因幡守口宣案・位記・宣旨) 慶安五 美 四冊 八

(光隆任侍從任阿波守口宣案・宣旨) 承應二 美 四冊 八

(光隆官位昇進ニ付御祝儀指上物披露之義諸向返狀控) 美 一卷 二

光隆様御任官御祝儀指上ニ付家中書狀寫 承應三

三通 一三四

(綱通敘位口宣案・位記・宣旨) 寛文九一〇

七通二卷 八三三

(綱通任官之節御勤次第)

二通 八三三

(綱矩敘從四位下任淡路守任侍從口宣案・位記・宣旨) 延寶六・七

六通二卷 八三三

(隆長敘五位下任總守口宣案・位記・宣旨寫) 元祿一三

四通 八三三

(隆長下總守拜任之節御官物之覺) 元祿二三

一通 八三三

(吉武敘任口宣案・位記・宣旨) 寶永二・三

六通二卷 八三三

吉武様就御官位京都御勤帳 寶永三

一冊 八三三

(宗員敘從五位下任隱岐守口宣案・位記・宣旨) 享保七

五通 八三三

(宗員隱岐守拜任之節御官物之覺) 享保八

一通 八三三

(宗員敘從四位下口宣案・位記) 享保一〇

二通 八三三

(宗員任侍從口宣案・宣旨) 享保一四

三通 八三三

昇進一卷帳 享保一四

一冊 八三三

(宗英敘從四位下任阿波守口宣案・位記・宣旨) 享保一〇

七通二卷 八三三

(宗英任侍從口宣案・宣旨) 元文二

二通 八三三

(宗純敘從四位下任淡路守口宣案・位記・宣旨寫) 元文三(享和三寫)

七通 八三三

源治昭從五位下從四位下阿波守叙任口宣案・位記・宣旨 明和七

七通二卷 八三三

源治昭朝臣任侍從宣旨・口宣案 安永元

一冊三通 八三三

治昭様被任少將節御臺様御簾中様御奉文 文化六

二通 八三三

源朝臣治昭任左近衛權少將口宣案・宣旨 文化六 八通一卷 八三三

治昭様被任少將候節一卷御控口宣壹卷書付添 文化六 美半 四通 八三三

若殿様口宣御頂戴御控 文化六 美半 二冊 三六(一) 一六

(口宣寫) 文化六 半 一冊 一六

源齊昌敘從五位下從四位下任彈正大弼口宣案・位記・宣旨 文化六 二〇通 八三三

源朝臣齊昌任侍從口宣案・宣旨 文化一一 五通 八三三

源朝臣齊昌任左近衛權少將口宣案・宣旨 文政一一 六通 八三三

源朝臣齊昌敘從四位上口宣案・位記 天保六 四通一卷 八三三

源朝臣齊昌敘正四位上口宣案・位記・宣旨 天保一〇 四通二卷 八三三

源朝臣齊昌敘從四位上從五位下任侍從淡路守口宣案・位記・宣旨 天保六 一〇通 八三三

源齊裕左近衛權少將口宣案・位記・宣旨 天保八 三通 八三三

源齊裕敘正四位下口宣案・位記 安政三 三通 八三三

源齊裕轉任左近衛權中將口宣案・宣旨 嘉永五 三通 八三三

源茂韶敘從五位下任淡路守口宣案・位記・宣旨 (安政七) 八通二卷 八三三

源茂韶敘從四位上任侍從口宣案・位記・宣旨 (安政七) 四通 八三三

源茂韶任左近衛權少將口宣案・宣旨 元治元 六通 八三三

源茂韶左近衛權少將如舊遷任阿波守口宣案・宣旨 慶應四 四通 八三三

佐野少進ノ太田章三郎宛書狀 四通 一三五
 口宣案・宣旨書式宛行ニ付佐野少進ノ太田章三郎宛返書并書付(文化六ナ) 四通 八三

吉 凶・佛 事

○祝 儀

竹印様御着帯より御産迄之次第書覺 天保 三四冊 一四六(一)

着帯覺 弘化三 横長美 一冊 一四九

御前様御着帯恐悅御作定之書溜帳 横長美 一冊 一四〇

御産之節覺 弘化三 横長美大 一冊 一四六(二)

吉武様御誕生以來御祝儀一卷記錄 元祿五―寶永二 美 一冊 一三一

岩松様御誕生一卷控帳 延享四 半 一冊 一四

御照様御誕生一卷控 寶曆六 半 一冊 一四

若殿様御誕生一卷御控 寶曆七 美半 二冊 一四

懿千代様誕生一卷控 寶曆九 美 一冊 一四

京都御誕生等之一卷 天明―文化 横長半 一冊 一四

若殿様御誕生一卷記錄 寬政七 半 一冊 一四

若殿様(氏太郎)御誕生書拔(弘化ナ) 半大 三冊 一四六(三)

御七夜ノ御祝事覺 弘化三 横長美 一冊 一四六

御宮參御用控 寬政九 半 一冊 一四六(二)

(出生御控) 一通 八六

氏太郎様御袴着御祝次第書 嘉永三 一二通 一四六(四)

竹印様御袖留御次第書寫 天保一五 半 二冊 一四六(八)

御袖留御そは向之心覺 天保一五 横長半 一冊 一四六(六)

御四ツ身御召御立方御覺 嘉永元 半 一冊 一四三

若殿様御そなわり恐悅ニ付被進差上物覺帳 安政二 横長美 一冊 一四六(五)

御具足御召砌御規式帳 享保七 横長美大 一冊 一四六

若殿様御具足御召物御次第 天保四 半 一冊 一四六(一)

御鑑御召初御次第 天保四 半 一冊 一四六(二)

綱通様御髮置 万治元 半 一冊 一四六

島津又三郎殿於殿中御元服之御次第 寛文七 一通 一四三

御元服御規式御祝儀一卷 右ニ付御客御能御役人付 寛文一〇―一 美 一冊 一四

前髮執候一卷控 享保八 美 一冊 一四三

在府帶刀方元服一卷控 付、帶刀様御元服之節之御作法書尤御奏者番衆御控書 寶曆一 美 一冊 一四

若殿様御目見御元服御一卷御手控御帳(文化六) 美 一冊 一四

若殿様御前髮被爲執候御一卷御控 文化七 美 一冊 一四

御髮置御用控 繪圖添 半 一冊 一四

御黒書院元服之次第書 畫圖入 一帖 一四六

蜂須賀準人書狀 櫻田御新造様御顔直御袖詰之義ニ付家老宛 一通 一四六

(富田姫養娘ノ儀ニ付重喜存寄書) 家老宛 一通 一四六

丹羽若狹守様御祝言之節御控 寛文六

丹羽若狹守殿祝言之覺 寛文六

(御移徒一卷控) 寶曆九

(穎姫縁組之事)

量姫様御入輿御行列帳 嘉永五

尋姫様御婚禮御入輿御略御召夜具類控 慶應二

御道具書ぬき帳 慶應二

御婚禮濟ニて京都ふひらき候節之心覺 慶應二

隨姫様御婚禮御用一卷 明治一四

若性院様京都御入輿一件留

御式書(御輿入之節)

納幣祝義覺書(綱短七十賀) 享保一五

操山様御七拾御年賀御祝壹卷相記帳 享保一五

入道准右様御八十御賀之節御所々様御被進候書 天保二一

管絃御聽聞之節御直衣之冠等色目

綱短様御代從延寶六年五年之間御吉凶書拔帳 享保二三年

○葬 祭

元公様御收御用掛輿御小姓手許控 享和元 四冊 七

元公様元夫人様御祭儀輿小姓手許控 享和元 文化元 四冊 七

穆公様御收御用掛輿御小姓手許控 文化二 五冊 七

景公様御收御用掛輿御小姓手許控 安政六 四冊 七

戴公様御收御懸輿御小姓手許控 半 二冊 七

(戴公様御收御用書留)

架祥院様御遺物帳 享保一六 一冊 七

養壽院様御遺物其外被下御預等ニ相成諸御控 (享和一) 半 一冊 七

養壽院様御法號并御諡

(性源院様御遺物所々并御家來共之被遺品々御帳) 美 一冊 七

瑞光院御葬式一卷 文化四 半 一冊 七

(大龍院御葬儀一件諸書附)

御葬禮行列 橫長半 一綴 八

御出棺御行列 橫長半 三通 八

御山上御次第 美 一冊 八

二汁五菜御祭之次第 半 一冊 八

御遠忌考(天正一四一明治四)

御年忌調帳 寛政八 美 一冊 八

○法 要

御年忌調帳 寛政八 美 一冊 八

御法事之節御家老惣奉行儀被仰出候控 享和二 半 一冊 一六(八)

御法事之一卷 享和三 一冊 八三

淡路守忌御免ニ付テ之心覺書記置 天保八 一通 八三

御法事覺帳 天保一五 一冊 一四四

御佛事覺 明治六一同二八 一冊 一四七

蓮遊院様七回忌御法事一件 明治二五 半 一綴 一四一

蓮遊院様第七回忌控帳 明治二五・同三一 横長半 一冊 一四三

妙香院様法要一卷 大正七 半 一綴 一四七

大源院殿葬儀錄 下編二 美大 一冊 一四九

大源院様御一周年忌御費用書類 大正八 半 一綴 一四〇

大源院様御三週忌御法要一件書類 大正九 半 一綴 一四三

御改葬錄 昭和三 美 一冊 一四八

御入國始て年頭興源寺爲御佛請仰出之節興源寺御料理獻上御盃被下候配膳之控 文化一一 二通 七一

(春光院・周應院回忌祥當) 興源寺 二通 八三

規 式

○ 禁 裏

主上御庖瘡御酒湯被爲召候ニ付御祝義御太刀御代御獻上一卷 安永一 半 一冊 一六

仙洞御所修學院御幸御列書 文政六 横長美半 一冊 一四五(一)

修學院御幸供奉色目寫 文政六 横長美半 一冊 一四四

修學院御幸次第 文政六 横長半 一冊 一四五(二)

渡御暑御圖 半 一枚 一四五(三)

修學院御幸御會(乾・坤) 文政六 半 一冊 一四五(四)

御入内御列書 文政八 横長半 一冊 一四三(一)

松菊様御引移り并御登城一件留 文政一〇 横長半 三冊 一四五

宣旨御行列 天保一三 横美四半 一冊 一四八(一)

相國宣下御拜賀御行列 天保一三 横長美半 一冊 一四八(二)

鷹司關白様御院恭御列書 横長美半 三冊 一四四〇

姫君御方御入内儀御次第 横長美半 一冊 一四四三

○ 公 儀 一二通 一九三

御招請一卷 半折本 四帖 一九三

御招請一卷御控 寶曆九 半折本 四帖 一九三

御轉任御兼任御代替之節御控寫 寶曆一〇 半 一冊 八九

(天保一一写) 御轉任御兼任ニ付御登城御束帶御行列帳 文化一三 美四半 一冊 九

御轉任御兼任御作法書 美折本 一帖 九

御坊主共控(御老中招請給仕之大概) 美 四冊 一三

○ 藩 主

藩 主

端午重陽歲暮之帳	寬永一四	半	一冊	一四九
忠英様年頭之御禮ニ被成御座御衆之覺	慶安三	美	一冊	一五五
年頭御規式御禮帳	寶曆四	橫長特美	一冊	一五
御在國年頭御規式	寶曆八	美	一冊	五
重喜様御代年中御規式	但御在國御在府共	美	九冊	五
寶曆六一〇				
三夕日御規式	未四月	美	一冊	三
就入國諸士規式禮之次第	享保二三	半	一冊	五
初入一卷相記帳	享保一三	美	一冊	五
(家中諸行事規式書留)		半	七冊	六
御奏者役控	寬政五	半	一冊	六
御國元御規式御禮帳寫ニて中小姓小奉行御步行	天保五		一綴	一〇五
延享寶曆御記錄書拔		半	一冊	三九
諸御出先御手控	寬政七	半	一冊	四三
西御丸御馬事控	御乗組一帳添	橫長美大	二冊	五
於菟殿始て道後湯治被參候節之手續帳	享和三	半	一冊	二〇
御飾付繪圖			一鋪	三〇

御白書院御黒書院畫圖	御禮次第書共		一帖	三六〇
江戸上屋敷御小書院御禮式書圖		144×112	一鋪	三六三
宗員様御代和十郎様御出府一卷	寬保年間		四通	二二
*御參勤之砌御目見被下物獻上物覺帳并御歸國之節	寶曆一	半	一冊	一六四
御定例共				
公儀使之義板倉市正殿可然由雅樂頭殿大和守殿			一通	八四
被申由飛驒守へ申遣切紙之返答		半	一冊	二〇四
於坂下御門外一橋様之御逢一件	文化二二	半	一冊	二〇四
御登城行列		橫四半	一冊	一四四
(御留書之内書拔)	(寬保一寬政)	半	一冊	四七
御代々御書之内書拔綴直江戸ニて立花内記之渡		半	二冊	一八
候本帳	(慶長一治)(天保八写)			
御能御振舞候獻立	天明七		一通	二八一
(家督祝相撲御覽一條)	文化年間		一綴	二八〇
御菓子御花御備品獻備扣		橫長半	一冊	一九七
(菓子等被下物之覺)			一通	二八三
(來午正月必御改之獻上物臺其外諸木具之用木御			一通	六四
定之覺)	巳八月			
御染物御注文	嘉永二	橫長美	一冊	一四三

勤 役

○ 参 観

朝倉甚十郎殿御文通控 享保一四	美	一冊	一冊	一冊
細井佐次右衛門殿				
御參観之砌御目見被下物獻上物覺帳并御歸國之節御定例共 寶曆一		一冊	一冊	一冊
御參観御道中御番并諸事申談帳 寶曆一三	半	一冊	一冊	一冊
御代々様御參府御歸國調 天保一	美	一冊	一冊	一冊
(道中諸道具并供馬先供人數之義公儀御尋ニ付御指出控并諸家様御指出控共)		一冊六通	一冊	一冊
竹印様御發駕御着之覺 天保一五	櫻葉	一冊	一冊	一冊
天和貳年御入國之節江戸ニて被仰出御法度道中行列御書付	美	一冊	一冊	一冊
宗鎮様御代御道中御行列書 寛保三		一卷	一卷	一卷
御參観御道中御規式下書 寶曆一	半	一冊	一冊	一冊
重喜様御代御供一卷 寶曆一明和	半	四通	四通	四通
御泊先 ^{南北} 行 ^州 事 寛政二	半	一冊	一冊	一冊
太守様御歸國被遊御船組御帳 貞享元	美	一冊	一冊	一冊
御船組帳 附御座廻り御役人附 寛政六	半	一冊一通	一冊	一冊
御歸國被遊御船組帳 寛政二	半	二冊五枚	二冊	二冊
御歸國被爲遊御船帳 申五月	半	一冊	一冊	一冊

御參観被爲遊御船組帳 巳三月

二冊五枚 一冊

江戸御供之面衣服之義被仰渡之覺

一通 一冊

(伏見御發駕江江戸御着迄道中心得方覺)

一通 一冊

參府首途覺 享保一四

美 二冊 一冊

東海道御旅行御控帳 享保一四一六

半横長半 四冊 一冊

御歸國之節諸事控 寛政一〇

横長半 一冊 一冊

於御道中妙法院宮様御行違之節懸合一卷 文化二

半 一冊 一冊

若殿様御出府一卷 文化五

半横長半 六冊 一冊

二條御番一件帳 文化七

文化七 二冊 一冊

於御道中永井大和守殿御行違ニ付町御奉行所ニて御吟味有之一件・御歸國御道中於大磯驛二條御番頭永井大和守殿御行違一件始末書

半 二冊 一冊

上方御在番衆御旅行之儀ニ付道中御奉行所懸合一件

美 二冊 一冊

○ 誓 紙

御誓紙之御留書 天明七

半 一冊 一冊

御代替ニ付於松平周防守宅誓詞之節仕成書 天明七

半 一冊 一冊

御誓詞御判元爲御見届御目付御越ニ付御道中并御在所ニて取斗一件 天保一一

半 一冊 一冊

○參詣 其他

正保慶安明曆萬治之間雜記 天保三享 美 四冊 四三

忠英様細川六丸様御後見被遊候節之御書附寫
(正保、萬治之間雜記下有之御帳之内拔書) 美 一冊 六

日光山御參詣之式 寛文三 美 一冊 二七

御即位前後勤之覺 貞享四 美 一冊 三三

御即位前後御勤一卷 明和八 美 一冊 三〇

綱吉公薨御一卷 附淨光院様御逝去一卷 寶永六 半 一冊 三三

文照院様有辛院様薨御之節鷹野釣等指控日數之
控 寛延四 美 一冊 九

大御所様御不例中并薨御一卷扣 寶曆元 美 一冊 三

有徳院様御位牌松岸寺之御安置一卷 寶曆元 美 一冊 三

中宮御懷妊ニ付賀川玄悦禁裏被召出一件
寛政一一一二 美 一冊 七九

日光御宮御參詣一卷 文化八・文政一二 半 二冊 二六

輪王寺宮之參上之節之手控 文化一四 美 一冊 二六

今度於江戸相勤申覺 美 一冊 五

(長々滯京御暇之節賜物之儀傳奏衆御演達之趣旨) 一通 二三

○火之御番

出火之節神田橋外之人數可指出被仰付一卷并御赦
免之迄内人數勤方扣帳 享保三 美 一冊 九

増火消被仰付増上寺防候一卷帳 享保一四 美 一冊 一〇〇(一)

増上寺火之御番被仰合之覺書 享保一四 美 一冊 一〇〇(一)

淺草御藏手當相勤一卷 享保一四 美 一冊 一〇〇(一)

淺草筋出火御藏防一卷控 享保一七 美 一冊 一〇三(一)

從公儀大火之節人數出被仰蒙之節扣 享保一八 美 一冊 一〇三(四)

御公私火之御手當一卷 寛保 美 一冊 一〇五

重喜様御代火御手當御行列書 寶曆年中 美 三通 八〇

火之御手當帳 寶曆一〇一明和八 美 一冊 一〇六

東叡山火之御番御讓書寫 美 一冊 一〇四

(出火之節出役及支度ニ付從公儀御達之書付寫) 寛政四 二通 九七

東叡山火之御手當諸御入用帳御増人之分御扶持
方米御賄共都帳 文化六一七 半 一冊 一一

西丸炎上ニ付取調書附類 天保九 半 一冊 二八(一)

増上寺居配所之御道具 美 一冊 一〇七

(上野御山内・淺草御藏御人數心得帳) 四冊四枚 一一

○御手傳普請

大坂御普請帳 寛永二一五 半 九冊 六五

(御公儀御普請其外諸帳之覺留書)
(寛永元一方法元) 美 一冊 一三六

大井川通川除御普請仕様帳 付目錄・被仰付書・
繪圖 一文元 美 九冊 一三六

日光御手傳御用控 寛延三一寶曆三 美 一冊 一三六

日光御手傳御用之節諸御書付綴 (寛延) 美 二綴 一三六

日光御手傳御用之節諸家來狀并諸書付 (寛延) 美 二綴 一三六

(日光御手傳御用之節諸家來狀并諸書付) 二綴 一三六

(日光御手傳御用ニ付御供并御差置人數名書)
(寬延) 四冊 七〇三

日光ニ御指殘御役人帳 寬延三 一冊 七〇二

(日光御手傳御用之節上棟式其他次第) 九折 七〇三
一枚 (三十四)

(日光御手傳御用之節諸繪圖面) (寬延一寶曆) 一冊一折 七〇三
三一枚 (四十五)

日光就御手傳外遷宮之節御仕成向合扣 半 一冊 七〇四

御手傳普請先格聞合松平陸奥守留守居方ノ覺書之寫 橫長美 一通 二〇三

獻納木請取目錄 寬政二 一冊 六九五

東海道筋其他川々御普請御入用并出金御勘定仕上帳 享和三 一冊 七〇(一)

(御手傳川普請相濟之節御用懸御家老等登城之砌御書付并繪圖) 享和三 一通一綴 七〇(二)

○異國人來朝

(朝鮮人來朝之節次第書) 正徳元 二冊 七〇

朝鮮人來朝之節書拔 (天和一寶曆) 一通 八八

朝鮮人來朝ニ付鞍置馬御指出之節一卷控 寶曆一三一四 一冊 六六

琉球人登城一卷 美 一冊 六九

○寬永將軍上洛御供

御上洛時御國御出船之日ノ道中京都迄之日々記 寬永三 一冊 三三

從江戶御上洛之時御道具之割并通馬割符 寬永二 一冊 三三

御上洛時御國ノ登り申米大豆白米塩鯉節薪殘分拂方御算用目錄 寬永三 一冊 三〇

御上洛時御借被成御取替之覺 半 一冊 三九(四)

於京都御扶持方被下來 寬永七 半 一冊 三六(一)

(於大坂御扶持方帳) 寬永 半 一冊 三六(三)

御上洛御供衆へ御音信帳 寬永三 半 一冊 三九(一)

御上洛御供之衆之御音信被遊米大豆之帳 寬永三 半 一冊 二九

御上洛御供之衆之御音信被遊銀子之帳 寬永三 半 一冊 三九(三)

御上洛之時御進物并方々中御音信帳 寬永三 橫長美 一冊 三四

御在役之時御家中衆ノ御上様ニ御音信御事跡帳 寬永三 美 一冊 三六(一)

兩上様還御御進物之帳 寬永三 半 一冊 三五

○御預人

堀田上野介一件 万治三(天保四享) 半 一冊 一〇一

堀田上野介殿御預り一卷 延寶五享保九 (御預人ニ付覺) 元祿一五 一通 八九

○獻上・拜領

御鷹之鶴初て御拜領被遊於上屋敷御披露儀式帳 寬文二・延寶元・二・五 美 一冊 一七

大納言様ノ御拜領物之覺書 正徳三 美 一冊 一〇

御鷹之鶴其他頂戴一卷 享保五 美 一冊 一六(一)

恒例獻上并拜領物覺 享保一七 美 一冊 一六

御鷹之雲雀拜領御披一卷帳 享保一九 美 一冊 一八

宿繼を以御鷹之鶴拜領一卷 寶曆八 美 一冊 一六(一)

(御鷹拜領心得之次第) (明和)
御献上御進物御肴八百物其他品々御調御入目帳
安永七

半 一冊 一六二
半 一冊 一八五

公 儀 狀

○ 御 内 書

御内書寫 美 一冊 一四
 秀忠公御内書 七二通 八五
 家光公御内書 一一五通 八五
 家綱公御内書 四三通 八四
 綱吉公御内書 三一通 八五
 綱吉公御内書 御分知之分 六四通 八六
 家宣公御内書 二通 八七
 家宣公御内書 御分知之分 一〇通 八八
 家繼公御内書 二通 八九
 家繼公御内書 御分知之分 一通 九〇
 吉宗公御内書 七二通 九一
 家重公御内書 四〇通 九二
 家治公御内書 七〇通 九三
 家齊公御内書 七三通 九四
 御在府中御内書控 文化六 一冊 九
 (公義來狀返禮目錄) 二冊 三六

○ 奉 書

操山病氣見舞上意老中御達之書狀 写 享保二五 一通 八六
 老中奉書 松平敬翁宛見舞狀 (文化一一九) 一通 八五

○ 御 達 書

御歸國之砌將軍家御病氣ニ付上意之趣御老中御達之扣 (明應一)
 攘夷ニ付淡州海防方下知狀 阿波守・淡路守宛 文久三 六通 二四
 公儀軍令狀 慶応元 一通 二六
 老中奉書 (軍中沙汰書) 慶應元 一通 九七

交 際

至鎮様御代舊記帳 元和一 美 二冊 一三四
 御進物并方々御音信帳 元和八―寛永五 横長美 三冊 二八
 年曆不知草案 (寛永以降) 美 四七冊 四九
 御普請ニ付方々御見廻御音信之帳 正保四 一冊 一三七
 小笠原信濃守長次書狀 二通 九一
 小笠原内匠頭長勝書狀 (寛文九) 五通 九三
 小笠原右近太夫書狀 (寛文九) 三通 九三
 雅樂頭様大和守様被仰請次第之覺 延寶四 半 一冊 一七〇
 池田綱清書狀 (延寶九) 一通 一八八
 從井伊備中守様被進候御納幣一卷之御書附 正德三 美 一冊 一三五
 御來札并御來答之寫 享保一〇以降 半 一冊 一四六

御文通之扣 享保一〇一—一五 半 一冊 四三

在府中他所文通帳 享保一四一—一五 美 二冊 四三

(宗鎮・重喜様御代) 文通帳 寶曆一七八 美 三冊 四三

在府客帳 寶曆六一九 美 一冊 二二六

重喜殿御時分御實方佐竹左京大夫義昭方家事之
義色々御文通控 美 一冊一通 八九

水戸中納言殿え始て罷越候節之手控 文化元 美 二冊 一七

齊昌様御代御書・御來書控 文政九—同一 美 四冊 四三

觀照院様御賄御仕送方文通控 半 一冊一通 八九

諸色被下覺 嘉永四 橫長半半 一冊 一四四

(諸侯來狀) 一四通 六五

大宮御所御機嫌窺之義ニ付徳島藩知事宛書狀 一通 二九四

日々心おほえ帳 明治二〇 橫長美 一冊 四四九(〇)

御到來物帳 橫長美 一冊 四四九(一)

御年玉被進被下覺帳 明治三〇 橫長半 一冊 四四九

諸方為御知先簿 明治 一冊 四四二

歷代書狀

蓬庵書狀 二宮惣左衛門宛 二通 二九六

京御供乘へ御音信 元和五 橫長半 一冊 二七

至鎮書狀 元和二 一通 二八七

忠英書狀 一〇通 九〇七

忠英書狀寫 (寛政三写) 五通 九六

(忠英留守中子供え供仕面々之心得方申渡覺) 一通 八五

(忠英隠密書狀) 四通 八七

光隆書狀 一一〇通 九〇九

(敬白院今度有馬御湯治之義ニ付光隆御渡之書狀) 一通 八五

綱通書狀 一三三—二通 九〇

綱矩書狀 四一〇通 九二

太守様萬次郎様之被進御書扣 寶永四 半 一冊 一三五

御在府中御國元御文通之扣 享保六 半 一冊 四三

御内證様方へ御文通之控 享保一三 半 一冊 四三

左衛門尉様萬次郎殿文通帳 在府中 享保一四 半 一冊 四三

交代旅行文通帳 享保一五 半 三冊 四九

宗員書狀 六一通 九三

宗英書狀 三五通 九三

宗鎮書狀 三九通 九四

至央(志摩)書狀 二通 九〇

重喜書狀 七五通 九五

治昭書狀 七七通 九六

安之丞様養老軒御引越ニ付御附人之御渡被成候
御書附御扣 天明八 一通 八五

若殿様御時分穆公様之御指上之御書 文化一〇 半 一冊 四四

隆重書狀 一三四通 九七
 飛騨守隆長 (分知二代) 書狀 四通 九六
 峰須賀玄蕃正改書狀 七通 九三

文 事

右史之心得 寛政二 横半半 一冊 八〇
 菓子類考據ニなるべきやニ付屋代弘賢之下問書 一通 二九
 弘賢答奥書 文政一〇 二通 八七
 書籍之内不審字書拔 天保五 一冊二通 八六
 帝京景物略目錄 附唐宋叢目錄 天保八 一冊 八〇
 格致鏡原文具日用居處器物目次 天保八 一通 八〇
 (御勤學御指延方上申書) 一通 八〇
 天文其他諸書物閱見之儀ニ付御答書 一〇九通 四六

宗鎮様御代文通・書狀文例 美 一冊 一七
 重喜様御代文例帳 半 一八冊 一八
 御文例控 美 六冊 一七

御 日 記

綱通様御代淨頗梨鏡御用之留書 延寶四一六 半美 一二冊 五三
 綱矩様御代御留書帳 貞享元一享保一 美 四八冊 五七
 宗員様御部屋住日記 享保一〇 半 一冊 三三

公用留書 (享保一〇一三) 美 七冊 三九
 宗員様御代御留書御帳 享保三十一四 美 七冊 三五
 (日記書拔) 元治二 横長半 一冊 三七

奥 日 記

御日記 弘化二一安政六 半 九冊 一三四
 (御奥日記) 慶應三 横長美 一冊 三七
 日記 慶應四 美大 二冊 一三四
 覺帳 明治二一 横長美半 一冊 一四五
 申繼帳 明治二五 横長半 一冊 一四五
 御日記 明治二一 横長美半 一冊 一四五
 鷹野・鹿狩 横長美半 一冊 一四五

鷹野・鹿狩

鷹打落褒賞ニ付年貢米扶助申付狀寫 天正一八 一通 一四五
 彌谷大鷹狩ニ付申渡折紙 二通 一四七
 御鷹ニて珍敷鶴御出來被遊候事 慶安元 半 一冊 一八
 (光隆御鹿狩之節勢子奉行目しるし覺書) 万治四 一通 一八四
 撫養大毛山崎山嶋田青村山鹿御狩新御道筋之御帳 延寶六 美 一冊 一三
 於御城山角鷹取中諸事控帳 正徳二 半 一冊 一七
 修理大夫様御鹿狩被遊候御書附 正徳五 一冊 一三
 小松嶋浦之御泊鷹野被爲成候兩仲間申談并御逗留中行事 明和三 半 一冊 一四

林建部方え被爲懸御腰候御供壹卷扣 明和五 半 一冊 八二五
 (御家老中老其外共) 御鷹之鳥被下置候部 明和年中 半 一冊 一〇〇〇

御道具

長崎ニテ相調申卷物并御道具之帳 寛永九 美 一冊 七五
 玲泉院様御在世之節御所持之御道具帳 元文五 半 一冊 七〇〇
 籠御茶屋御額御出來之節京都參候額縁御仕様書 一通 一八五
 御道具取調書 一紙 一四〇

城郭

須本御城普請之儀ニ付御奉書并添狀 寛永七 三通 一〇〇
 淡州御城之義ニ付御老中ノ書狀 右御扣并中條次大夫言上書添 (寛永七) 二通 一〇〇
 西之丸御作事并橋之懸直之義御老中え伺立之返書 慶安二 一通 一〇五
 御關船造船之義并阿波之御城修覆の分御老中え御伺之控 承應三 一通 一〇五
 阿波守宛坪内惣兵衛書狀 但福嶋橋修覆之義御老中へ伺立之返書 寛文一 一通 一〇七
 渭津城下外曲輪塀浦石垣繕之儀公儀へ伺自筆之下書 (延寶五カ) 一通 一〇八

*阿波渭津城下外曲輪修築ニ付御差出繪圖 延寶五 一通三鋪 一三五
 御兩國所ニテ出火之節公義御届一卷 (享保年間) 美 一冊 一〇一
 (御城内道法) 亥三月 一通 一三三

屋敷

祝融記 明曆三十一天保五 半 二冊 三四

江戸所々御屋敷御作事ニ付諸品御調御入目之覺 万治一 一通 一〇三
 上屋敷人數減し方上達依頼狀 坪内惣兵衛宛 (天和) 一通 九六
 濱御屋鋪坪敷入割并名主懸合之趣意 寛政六 半 一冊一綴 三四
 御類焼一卷書拔帳 元祿一一一享保八 (享保二〇寫) 美 二冊 三五

正徳三歲深川屋敷類焼一卷享保二歲具服橋屋敷檢物町屋敷之類焼壹卷并移徒之一卷、但此後檢物町屋敷類焼之一卷も奥記置 美 一冊 一〇〇

小名木澤屋敷東長屋出火一卷 寶永四 美 一冊 三六
 (小名木澤屋鋪取拂一卷帳并繪圖) 享保二 半 一冊一通 三四

捨子缺込人等雜記 享保 美 一冊 七七
 芝御屋敷宗林坂御殿所々御普請入用積右御指圖添 (下屋敷拜領調書) 四通一枚 一〇〇
 一通 一〇三

岩屋御屋棟敷并諸道具改相渡帳 正保四 美 一冊 八四

(留田御屋鋪御作事方請持被仰付ニ付御貸屋敷御成來り相記伺) 享保一一 一通 一一一
 熱海御別邸修築一件 明治 二綴 一四七
 三田綱町御別邸修築一件 明治 一綴 一四三

藩校

學校御造立愚案稿 半 一冊 二〇〇
 學校一卷書付 半 一冊 二〇〇
 學校一式新規出來御入目積書 午四月 橫長半 一冊 八三〇

(八丁堀御屋敷學校取立一件目論見書類)

六通二枚 二二五

雜

(女中衆加増金米被下覺) 正保三

一通 1000

御福引被仰付控帳 寬保三

半 一冊 七四〇

御福引帳 寬延二

半 一冊 七四〇

御家門御備一卷 (寶曆頃)

半 二冊 五九

若狹樣豐前樣御議ニ付武鑑御名御削被成候御壹卷
廣岡柳言上等入

三通 八九〇

(蜂須賀信濃宛家來身分申付御判物) 治昭

寬政二三 一通 1007

御内御用物御入組目錄

二通 二八四

若殿樣懿千代樣恒之進樣御守役取遣控

半 一冊 二五

法制

幕法

武家諸法度 寶永七

卷子 一卷 九四〇

武家諸法度 享保二

卷子 一卷 九四七

武家諸法度 安政六

半 一冊 一四七

御四代御法度書之留 慶長一寬文

美 一冊 三〇〇

諸國飢饉之節公儀之御書附 寬永一九

一通 九四

御條目之寫 (寬永一・元祿)

美 二冊 三三

殉死御制禁書付

一通 九五

諸國在々酒造商賣并煙草作り之義ニ付御觸書
寬文一〇・一一・延寶三

三通 九四

(御拜領御條目寫) 延寶七

一通 九五

(生類あはれみニ付渡世之外鐵炮ニて殺生停止之
覺) 元祿二

一通 九五

(生類あはれみニ付猪鹿狼鐵炮打方之節心得方被
仰渡覺) (元祿一)

一通 九五

(於藤堂伊豫守殿御書付御渡被成候刻被仰聞候覺)
元祿三

一通 九三

金山於有之者可致所務之旨御書付 (元祿一一)

一通 九四

郡方之御渡被遊候御判物寫 元祿一三(享保六写)

一冊 三九

從公儀年々被仰出御書付之寫 明曆一・元祿八
(享保六写)

美 一冊 九五

公義御法度書 享保一四

美 一冊 1000

阿淡諸出家之參候條目控帳 享保一五

美 一冊 三三

於日光御法度書 寬延三

一通 九五

御儉約ニ付於江戸追々被仰出相濟控 寶曆

半 一冊 二二〇

御定書 寬政二

半 一冊 三三

江戸道中御法度書 享和三

一通 九五

御參勤御道中江戸御法度書并御觸書之類

半 一冊 三九

後篇殿居襄諸御門番所御法令書

半 一冊 二九〇

武家公家法律拔萃

美 一冊 三三

國元指置寫 (慶長一七—明曆二)

藩 法

至鎮様御壁書 元和四

制札寫 元和四

御城内所々御書付控 元和以降

(御法度書留) 元和四—延寶一

至鎮公法度書

(家中出入捌方ニ付被仰出書) 至鎮 宿老宛

御法度書 元和・貞享

御法度 元和・寬永

忠鎮公法度書 寬永元

家中法度連判狀 寬永三

忠鎮公法度書 在府供仕衆中宛 寬永四

制札之御間之御指出七ヶ條之御條目 寬永九

御法度書 寬永九—元祿九

忠英公法度書 家老中宛 寬永二—二

御山下市中御定書寫 (寬文三—天和三)

御代々御法令 (寬永—延寶)

法令雜錄 寬永—天和

御法度寫 宗門御改奉行 正保—寬文

美 一冊 二九四

折本 一冊 三四

美 一冊 三五

美 一冊 三三

美 一冊 三〇〇

一通 六九

一通 九三

一冊 三三(一)

折本 一冊 三九

一通 九三

一通 九三

三通 九三・九三

一冊 三三(一)

半 一冊 三五

一通 九三

美 一冊 三五

美 一冊 三五

半 一冊 三八

美 一冊 三四

御條目并御觸等部寄書拔 慶安—文化

(家中勤方之定) 承應二

御記錄御判物之寫 (承應二)

御判物寫 (承應二)

御判物御文段々書拔 (承應—享保一五)

御城内所々御書附控 承應—明和

御家中檢約追々被仰出候御書附 承應—享保

(被仰出書付寫留) 明曆二—延寶一

書拔 (明曆—元祿)

(御留守中出兵之儀ニ付横目之者共ニ被遣御書付) 寬文五・一三

萬覺書 寬文八

御判物町奉行之御出被遊寫・紙屋町御判物・福

島町御制札寫 町奉行 (寬文元—天和三)

(御留守中出兵之儀ニ付横目之者共ニ被下置御書付) 延寶五

(御定書) (延寶七—元祿六)

前代順々檢約被仰出舊記 延寶八—享保一四

御判物町奉行之御出シ被遊寫 町奉行 (天和三)

* 郡方諸事記并觸狀跡書 天和三

(家中勤役之儀ニ付横目之者共宛御條目) 貞享四

撫養岡崎御屋敷御判物并御書附御狀之寫 (貞享)

御法度書之寫 元祿九

半 一冊 三六

一通 六五

美 一冊 三五

美 一冊 二四

美 一冊 二七(一)

美 一冊 二七

美 一冊 二六(六)

半 四冊 二六(一五)

一通 二七三

一冊 二七九

美 一冊 二四(一)

一通 二七三

美 一冊 二五

美 一冊 二七

美 一冊 二四(二)

美 一冊 二六(五)

美 一冊 二七(四)

美 一冊 二九

美 一冊 三三(一)

元祿年中被仰出御品書御帳書拔	元祿一—一—四	半	一冊	元九
御品書御帳書拔	元祿二—一文化一〇	半	五冊	三〇
阿波國諸番所御高札之寫	正徳六	美	一冊	三二(四)
淡路國諸番所御高札之寫		美	一冊	三三
享保三年四年九年儉約帳		美	一冊	三六
御判物證文寫	享保一一	美	一冊	三七
綱矩様御代御法度書	享保一一	美	一冊	三三(五)
伏屋三右衛門書付(但名東郡名西郡麻植三郡在 々無役所之分書付也)	享保一四	美	一通	三四(〇)
板野阿波郡美馬三好四郡御制札御文段并御番所 御控書彼是寫帳	享保一五	美全	一冊	三四(〇)
板野阿波美馬三好四郡所々御制札場數・御番所御制 札數・神社佛閣寺院社領建立所數・御番所御武 具郷鐵炮人數・小高取名書等目錄	享保一五	美全	一冊	三四(〇)
勝浦那賀海部三郡所々川口并御番人數・御制札場 場數・神社佛閣又者郷鐵炮人數・所々御番所之相 渡御武具其外御控書等目錄	享保一五	美全	一冊	三四(四)
安宅御判物寫	享保一五	美	一冊七通	三五(二七)
名東名西麻植三郡御制札御文言并御番所御控書 之寫帳	(享保一五)	美全	一冊	三四(五)
勝浦那賀海部三郡御制札御文言并御番所御控書 寫書	享保一五	美全	一冊	三四(〇)
名東名西麻植三郡所々御制札場數・川口御番人 數・神社佛閣又者御鐵炮人數・御番所之相渡御 武具其外御控書等目錄	(享保一五)	美全	一冊	三四(七)
阿淡御法度書之御判物諸役所之御渡ニ相成候御 控	享保一五—一六	美	三冊	三五

御法度御書附并從御目付出書付	享保一八	半	一冊	三五
御家中儉約相觸候控	享保	美	一冊	三〇
御城内所々御門之被仰付候御趣并其節御目附共指 出候書付控	寛保元・一一	美	一冊	三三
諸用控(被仰出覺之控)	寶曆三	美	一冊	三五
御出先諸事被仰出控	寶曆六	半	一冊	三〇
御兩國之被仰出御書附	寶曆	半	一冊	三二
被仰出控	明和三	美	一冊	三〇
所々御門御掟帳	明和四	美	一冊	三七(〇)
御判物町奉行之御渡被遊寫	安永七・八	美全	一冊	三七
御法令被仰出候次第書	天明七	半	一冊	三四
*御石場において御鐵炮之者之御定書控	寛政二	半	一通	九四
御觸控帳	寛政四—一〇	半	三冊	三〇
御記録御假控之内被仰出書	寛政六	半	一冊	三〇五
穆公様御教諭書		半	一〇通	三六九
御定目御法度書御書附寫		美	一冊	三四一
御與御條目		半	一冊	三三
(儉約之義ニ付書付)		半	一通	三七
江戸御廣間掛板御條目		美	一冊	三四
京師變動ニ付御書付寫	朝廷御沙汰書寫添	美	三通	三三三
明治元		美	四冊	三五
舊例大全	文化三	美	四冊	三五

御壁書御裏書古今之御引合取調帳 御郡代
(寛政元)

(諸事目録)

(書拔・目録・繰出)

(目録)

目録一通

裁許所

○裁許所定書

(淡路國公事裁許ニ付定書) 寛文一一・享保一五

(水論捌方ニ付裁許奉行之申達覺) 元祿一〇

(公事裁許ニ付定書) 元祿一三・享保一五

御兩國裁許所御判物寫 享保一五

裁許御奉行之御渡被成候御書付寫 享保一五

(郷付奉公人出入裁斷方申付覺書) 享保一五

(公事之定之内御附紙親書) 寶曆三

(裁許所御判物宛名奉行人之儀ニ付口上書并書付)

○裁許記録

(裁許所公事出入落着御帳) 貞享元一寛政一一

裁許所記録 元祿一三

(裁許御目付御帳) 享保一五一安政五

(不落着分裁許奉行申上) 申二月

○出入文書

半 一冊 三〇〇(一)

半 一冊 三〇

横長半半 四六冊 三六

美半 一冊 三五

美 一冊 三五

美 一冊 三五

二通 九〇

二通 九〇

二通 九〇

一冊 三五(一)

美 一冊 二九

美 一冊 九四

一通 九四

四通 九四

美・半 四五冊 二六

美 一冊 三六(五)

美 一冊 三七

二通 二六

*大阪商人大和屋金銀出入公訴一件 寛文年中

五九通 一〇〇四

綱矩様御代美馬郡拜村麻植郡川田村百姓出入并麻
植郡持福寺方御既杖突廣田與五兵衛分出入之事
繪圖添 享保一〇

美 一冊 三六

阿州二軒屋町田中屋孫右衛門下女とめ於大坂御
番所之目安指出候壹卷相記憶帳 享保一六

美 一冊 三六

机浦漁場一件 寛政五一六

美・半 一冊 三五

(加子人源兵衛加子人清太郎相掛候酒株賣買出
入ニ付落着申付覺) (寛政一一)

美 一通 九七

中山百助村瀬孫太夫始六人之面々金拜借一件
之義ニ付文通控 文化九

半 一冊 三五

(預ケ米出入裁斷落着書類) 文政元・一三

半 九通 九七九

熊谷寺一件書附 文政三

美・半 一冊 二九

(由良浦拜借金之儀訴願一件書類) 文政五

半 一冊二綴 五〇

由良浦擲網一件書狀

半 一通 二六

元居書拔

市郷元居書拔 (承應一寛政)

半 一冊 三五(一)

御藏處勘定方林方元居書拔 (正保二一天保元)

半 二冊 三五

裁許處・町方・御普請奉行元居書拔
(寛永一七一天保)

半 一冊 三五(四)

御城内諸役場・諸御屋敷御用・御用人與御小性・御膳番付儒醫御茶道御繪師・御與元居書拔
万治元一寛政
半 一冊 三五(五)

三都并洲本元居書拔 (寛永二〇一文化二二)
半 一冊 三五(六)

藍方・銀札場・紙方・付銀奉行小拂共元居書拔
(天和一 天保二)
半 一冊 三五(七)

御作事方・新御藏北御藏元居書拔
(寛永二一 天保五)
半 一冊 三五(八)

旅一卷・諸御役場雜・諸配下元居書拔
(慶安五一 文政六)
半 一冊 三五(九)

御鷹方・安宅・御櫓・御厩元居書拔
(承應三一 文政七)
半 一冊 三五(一〇)

御家老并御仕置處元居書拔
半 一冊 三五(一一)

御國中御家中元居書拔 (元和四一 天保五)
半 二冊 三五(一二)

組一卷・御番手當處・御徒士伊賀者・諸御分一處
元居書狀 (貞享三一 文政一)
半 一冊 三五(一三)

郡方元居書拔 (寛永一八一 天保二)
半 一冊 三五(一四)

職制

○役制

宗鎮様御代御兩國御役人帳 寶曆四
美 二冊 五(四)

安永以降諸御役場新ニ被仰出候分調帳并書拔
安永三一 天保三
半 三冊 三(七)

惣御役名 文化一〇
横長半 一冊 五(八)

(小姓役 諸奉行役職制并其配下役付)
御家老家代々之調 (文政)
半 二冊 五(一)

(鍛冶奉行御繕奉行代人名前覺) 二月一五日
諸御役人被仰付來格式之帳 寶曆
美 二冊 五(二)

○勤用記

御記錄覺書 寛文一元祿
美 一冊 三(六)

御書付之寫 御櫓目付 寶曆二二
美 一冊 三(七)

須本惣御役人格式勤來候覺 寶曆
美 一冊 三(八)

本頭様御代之節勤方書附指出候控
半 二冊 三(九)

島々遠見番之被下物并諸士對客等之控 明和六
半 一冊 三(一〇)

與頭之與中之申達書寫 寛政七
美 一冊 三(一一)

* 賀嶋主水死去之節長谷川主計之被下御書寫
御屋鋪目付心得之覺 文政二二
美横四半 一冊 三(一二)

御内御用記 (御付紙之被仰出記) 天保八
美 一冊 三(一三)

御役改御定書并與調書附 戌八月 (天保九九)
二通 九(七)

(御前勤改方申達控)
一通 九(八)

御城内御番所御役所御條目御究向之類并御制札共
大見付御門御究御番人心得方
半 一冊 三(一四)

小見付御門御究御番人心得方共
半 一冊 三(一五)

鷲御門御條目并御番人心得方共
半 一冊 三(一六)

切手脇御門切手御究并御番人心得方共
半 一冊 三(一七)

黑御門御究并御番人心得方共
半 一冊 三(一八)

御書附ニ付申出候覺 子二月 半 一冊 三三
 長谷川閑窓剗記 明治二四 半半 一冊 一四三
 諸役舊制 半半 一冊 一四二

藩政

直仕置

家政沙汰狀 北六郎三郎宛 天正一八 一通 一三三(一)
 忠英様被仰出候御覺書 長谷川越前宛 一通 九六
 ケ條覺 美 一冊 三七
 忠英様光隆様直仕置御判物御書附 元和一寛文 三冊 一四
 從蓬庵様參候御跡書 寛永一 半 一冊 八七
 (蓬庵煩中家老中へ申渡覺) 一通 八五
 (忠英留主中留守番之事申付覺) 寛永一六 一通 九四(一)
 (陣等有之砌留守番之事他定書) 寛永一六 一通 九四(一)
 賀嶋和泉ニ申聞覺 閏九月(寛永一九九) 一通 九七
 屋敷中定之覺 忠英 村上弥一右衛門宛 寛永二〇 一通 一四
 (家老之中へ仕置方一人可頼旨申付覺) (寛永九) 一通 九六
 上使之衆御國廻之時忠英被仰出心得書 一通 九四
 (益田外記罷在所へ人出入文通改方申渡書) 忠英 一通 一〇五
 *(久次米辰兵衛等御咎一條ニ付御書) 三通 一〇〇

* (黒田半三郎誓紙相背候ニ付切腹仰付書) (正保九) 一通 一〇九
 町人共ニ遣銀子之覺 山田豊前宛 一通 一二七
 細野權右衛門ニ可申渡覺 一通 一〇九
 改元通知狀 明曆元 一通 一三三

御家老之被下御證文之義を始諸御用文通控書拔 (明曆二一安永九) 半 一冊 三〇三
 於江戸諸事法度書之跡書 (明曆三一寛文三) 美 一冊 三六
 (公儀御用ニ付人數打立之儀家老中へ御渡之書付) 明曆四 一通 一七〇
 (御留守中出陣之砌仕置方老中へ御渡之覺書) 寛文四 五通 一七一
 光隆様御末期御家老共へ御渡被遊候御書附草稿 寛文六 一通 八五
 (江戸御書御控) (寛文八一〇) 美 一冊 三六(一〇)
 正能書狀 (家老中宛) 寛文九 二通 一三〇
 酒部舍人福田八左衛門奉ニて御意趣申渡覺 寛文二一 美 一冊 三三(一)
 正能書狀 (御城下大火之節山田豊前宛) (寛文) 一通 一二六
 御家老之被下之御書附 一通 九六
 (宗門改勵行御書付ニ付阿波守書狀寫) (寛文二一延寶四) 一通 九九
 綱通様御病中御家老共へ被仰出候御口上書御控 一通 八五
 (留守中之儀ニ付横目付宛御書付) 延寶五 一通 九六
 御年々様御書控寫 (延寶一寶曆) 美 三冊 三九一
 綱短御證文 (御藏奉行宛力) 貞享元 一通 九七
 (一揆等之節急人數出之心得方覺) 貞享四 一通 九九五

御乘船前御家老之御渡被遊候御書附

享保六・元文四・寛保三・寶曆四

四通 九卷

* 賀嶋主水同彌右衛門御咎賀嶋六右衛門御家老職御取立并近親共之御書付共 享保一四

三通 二卷

(人數差遣砌下知書) 享保一六

一通 二卷

(留守中仕置方書付) (宗鎮 添狀共) 寛延二

二通 九卷

重喜様御代御在國中江戸方言上控 寶曆八一九

半・美

四通 三卷

宗鎮様御代御乘船前御家老之御渡御書付并日光御手傳付て之御別紙

三通 九卷

賀嶋出雲御仕置御用被仰付候節御目付之御渡被遊候御書附 (明和三)

一通 九卷

(御家老始御役人之被下置候御書付控) (明和四・享和四)

美・半 六册 三卷

重喜在國在府書狀控

美 二册 四卷

御直渡御書付假控 寛政二

半 一册 二卷

御國許方言上之御控 寛政三

半 二册 三卷

御歸國御發駕前仁尾内膳之御渡之御書附 寛政四

半 一册 二卷

萬年賦御用控 寛政八・享和一

半 二册 四卷

御直渡御書附 (寛政八一文化四)

半 一册 二卷

治昭様御家督御已來積年々御國事之有増御心裏之成行當時御役人共之御咄聞世書 享和一

半 一册 三卷

* (那代一卷之儀取扱方申置書附) (享和三)

一通 九卷

御直渡御書附 (寛政) 文化五

半 二册 五卷

江戸御發駕前仁尾六郎左衛門之御渡被遊候御書付申四月

一通 九卷

(宗門改并安宅武道具用方二付申渡口上之覺)

* 賀嶋主水死去之節長谷川主計之被下御書寫

(參觀御供之面々之被仰出覺)

四通 二卷

(城下新町火事二付申付覺) 二月十三日付

一通 二卷

草案

至鎮様御代草案 慶長一四一九・元和四

半 二〇册 四卷

忠英様御代草案 (一) 寛永七一〇

美 二〇册 四卷

忠英様御代草案 (二) 寛永一一二

美 二二册 四卷

忠英様御代草案 (三) 寛永一三一四

美 一五册 四卷

忠英様御代草案 (四) 寛永一五一六

美 三三册 四卷

忠英様御代草案 (五) 寛永一七一正保二

美 三一册 四卷

忠英様御代草案 (六) 正保三三四

美 四四册 四卷

忠英様御代草案 (七) 慶安元一二

美 二九册 四卷

忠英様御代草案 (八) 慶安三三五

美 三五册 四卷

光隆様御代草案 承應一丁万治三

美 一五册 四卷

光隆様御代御草案書拔 承應元一寛文五・万治三三四

美 二册 四卷

御國御用之御書草案 (在府中用所國元家老中其外へ申遣控) 寛文三一延寶五

美 四册 四卷

御國元之遣候御用狀之跡書 寛文三一延寶元

美 六册 四卷

萬覺書并手紙之控 寛文二・延寶二

美 二册 四卷

國本用草案	寛文二二	美	一冊	三六〇
延寶元年同貳年御書控	延寶元一一	美	一冊	四四
(綱通) 御狀之留	延寶二一五	美	四冊	四三
綱矩様御代御用草案	延寶六一九	半・美	六冊	四三
綱矩様御代御書控	(天和二一元祿二一)	美	六冊	三五
綱矩様御代吉武様御書之控	正徳四一享保八	半	四冊	四三 (七九)
宗員様御代在府御書控	享保一三一一〇	半・美	一二冊	四六
宗員様御代國草案	享保一四一一五	美	一冊	四六(一)
在府中於國元申出用并從國元窺越用控帳	享保一四一一五	美	二冊	三三
宗員様御代御在府中御家老え之御書控	享保一四一一五	美	二冊	四六 (二〇)
宗員様御代御在府中中老え之御書御控	享保一五	美	一冊	四六(四)
宗員様御代御在國中御書之御控	享保一五一一六	美	二冊	四七
文通帳	享保一五一一一〇	美・半	五冊	四三
宗英様御代御書控	享保二〇一〇元文四	美・半	一四冊	四九
宗鎮様御代御書控	元文五一寶曆元	美	二冊	四〇
宗鎮様御代御在府中文通帳	寛延三一寶曆三	美	九冊	四二・四三
在國諸用并須本江府日光書狀控	寛延三	美	一冊	四四
在國三都并須本ヨリ書狀控	寛延四一寶曆二	美	四冊	四三

藩政 草案 御仕置所

古物御櫓の出候正保二年の慶安四年迄之御書并書狀之内書拔	天保一三	半	三冊	四五
御代々御書御草案書拔		半	一冊	四〇
重喜様御代寛文十三年の寶曆五年迄御書之書拔	寛文二二一寶曆五	美	三冊	四六
裁判支配御用之外同役取遣草案	明和三一六	半	一冊	二二(三)
御作法御成來り替并御家中とも以前々相達候品草案 上下		半	二冊	四一
長谷川近江出府一件(文通控)	寛政元	半	二冊	四三

御仕置所

御仕置所御帳書拔 (寛永一延寶)		美	一冊	三〇(一)
(洲本御仕置帳)	承應三一四	半	六冊	三三
*御家老并御仕置處元居書拔 (承應元一天保五)		半	一冊	二五(一)
御在國中御仕置帳	享保一三一一五	美	一四冊	二六
御仕置所御用帳	天明八一寛政七	美	一〇冊	二七
御仕置所御帳拔書	寛政三	半	一冊	二八
須本御仕置御用日記	稻田太郎右衛門 寛政四	半	二冊	二九
御仕置御渡御端書御控		半	一冊	四〇(四)
享保年中御留書御長持入組目錄	享和二改	半	一冊	四一
記錄	享和三	美	一冊	四二
雜手控	寛政六	横長半	二冊	四三 (五)

(仕置所書拔帳)

萬指紙之留書 承応三

一冊 三五

(賀嶋主水他江戸在番申御仕置處控) 寛文七・九

美 三冊 (一・四・五)

萬認書 賀嶋主水・山田豊前 寛文一〇

美 一冊 六一

阿淡之遺狀之跡書 寛文一二

美 一冊 二六(二)

萬被仰出申渡并御兩國申遣控 山田豊前 寛文一二

美 一冊 三三

御在江戸申御仕置覺書 延寶三

美 一冊 三五

* (御仕置御用役交代之節被仰出書) 文化七

御仕置御家老御渡被成候御書付等之寫

美 一冊 二五

御證文寫四通

美 一冊 二九

青山大藏伊丹順齋爲御仕置讚岐へ渡海之時阿州讚州境目出入ノ際兩人被相定書付寫 寛永一八

美 一通 九

(於江戸諸願紙控) 寛文八

美 一冊 二六(三)

(職方々作事奉行之差出算用帳與書文面達書)

正徳元

一通 二二

御記錄假御控 寛政四

半 一冊 四九

豫州今治御領百姓願之趣ニて山城谷迄立越一卷

半 三冊 七五

(城内火之手當中村衛守代替之節目付共旨趣有之ニ付裁斷一卷控) 寛政一〇

一冊 一〇九(一)

* 賀嶋主水就病氣仕置方斷之段々書付控 貞享元

美 一冊 二六(一)

* 山田織部ニ仕置用方申付候始終留書并長谷川主水ニ仕置用方申付候口上控 貞享元

美 一冊 二六(二)

* 山田織部ニ仕置用方之儀申候趣ニ付織部請不仕候段々控 貞享三

美 一冊 二六(三)

家老・年寄御用狀

言上之跡書 正保四・明暦三

美 二冊 四〇

江戸之書狀之跡書 承應四

美 一冊 四一

御國元へ御用跡書 山田豊前々賀嶋主水宛 寛文八

美 一冊 三〇

方々々來御用帳之寫 寛文八

美 二冊 三七

御國元へ之控 山田豊前 寛文一二

美 一冊 二六(三)

(山田豊前用狀控) 淡州・京・大阪宛 寛文一二

美 一冊 二六(四)

蜂須賀頼母書狀

一通 二七

稻田九郎兵衛江府來狀 享保二〇

一通 一〇六

(賀嶋長門書狀并株書控) 寛政元

半 四冊 三九

(太守様御通行ニ付仕置書附) 二月一〇日

一通 九一

州本言上控 寛政三

半 一冊 三六

御年寄役京都御留主居言上文通等控 寛政四

半 一冊 三七

御用文通控 但御年寄始御役入 寛政四

半 一冊 三四

御側御用

光隆様御代御用帳 承応四―寛文三

半 一〇冊 三三

御國元ニて御用御留書帳 元祿三

美 一冊 三七

隱岐様御用方御控 享保二 美 一冊 三〇
 覺書御帳 享保一三一八 美 九冊 三〇
 覺帳 享保一五一八 美 六冊 三六

宗員様年中御記録并江戸共(諸事雜錄留)帳 美 一冊 三九
 宗鎮様御代御在國御旅中諸御用控 寬延三 美 五冊 四〇
 江府諸御用控 寬延三—四 美 三冊 四〇
 在國諸御用控 寬延四—寶曆一 美 八冊 四〇

宗鎮様御代御在府中諸御用控 寶曆一—三 美 九冊 三三
 重喜様諸御用事控 寶曆四—五 美 一冊 三三
 重喜様御代御日記 寶曆五—一二 美 一〇冊 三三
 在府寶曆十一已歲日記 寶曆一 半 一冊 三六

酒部内膳書狀 一通 二七
 江戸留主居 美 八冊 三五

御舊記書拔(寬永一六、明和六) 美 一冊 三〇
 元々所 美 一冊 三〇

元々所御記録覺書共寫 美 一冊 三〇
 横目・目付 横長美 五冊 三三
 (横目記録并行事帳之内書拔) 元祿八一元文四 半 三冊 三六
 御目附行事 正徳三—享保八 横長美 五冊 三三
 行事帳月番帳之内書拔 寶曆五 横長半、一四冊 三二
 御目附申(言)繼帳 明和七—天明七 美 一冊 三二

藩政 御側御用 江戸留主居 元々所 横目・目付 郡所

中村衛守御城内火御手當被仰付候一卷控 寬政一〇 美大 一冊 三九
 (川出御船印其他御目付中申達書控) 三通 三九

郡所 郡所記録御定書 美 二冊 三六
 御家老被申渡候一卷并郡奉行共方時々申達相極候郡方記録(寬永一貞享) 美 一冊 三六
 御仕置御家老御書付を以被仰渡候郡所記録(寬永一—寶曆五) 美全 一冊 三六
 御仕置御家老之相窺御書附を以被仰渡候郡所記録(寬永一—寶曆五) 美全 一冊 三六
 御仕置御家老之相窺御書付ヲ以被仰渡候郡所記録(寬文一三—寶曆五) 美 一冊 三五
 郡方諸事記録并覺書帳(延寶八) 美 一冊 三七
 郡方諸事覺書并他國狀跡書(天和三) 美 一冊 三七
 郡方諸事記并觸狀跡書(天和三) 美 一冊 三七
 * 板野阿波美馬三好四郡無役在所相記帳(享保一四) 美 一冊 三六
 * 伏屋與三右衛門書付 但名東名西麻植三郡在々無役加之分書付 享保一四 美 一通 三六
 * 板野阿波美馬三好四郡御制札御文段并御番所御掟書彼是寫帳 享保一五 美 一冊 三六
 * 名東名西麻植三郡御制札御文言并御番所御掟書之寫帳 享保一五 美 一冊 三六
 * 勝浦那賀海部三郡御制札御文言并御番所御掟書寫帳 享保一五 美 一冊 三六
 * 板野阿波美馬三好四郡所々御制札場數御番所御制札數神社佛閣寺院寺社領御建立所數御番所御武具鄉鐵炮人數小高名書等目錄 享保一五 美 一冊 三六

藩政 御側御用 江戸留主居 元々所 横目・目付 郡所

勝浦那賀海部三郡所々川口并御番人數御制札場 數神社佛閣又ハ郷鐵炮人數所々御番所々相渡御 武具其外御掟書等目錄 享保一五	美	一冊	二六(四)
* 數神社佛閣又ハ郷鐵炮人數御番所々相渡御武具 其外御掟書等目錄 享保一五	美	一冊	二六(七)
名東名西麻植三郡所々御制札場數川口并御番人 數神社佛閣又ハ郷鐵炮人數御番所々相渡御武具 御仕置御家老御書附ヲ以被仰渡候郡所記錄 (享保七一寶曆四)	美	一冊	二六(二)
御家老々被申渡候一卷并郡御奉行共方々時々申 達相極候郡方記錄 寶曆五	美大	一冊	一三九
郡所記錄 寶曆五	美	一冊	二六(三)
御郡代御用手掛申上 寬政年間	美	一〇冊	二六
御郡代御咎一卷 享和三	半	二冊	五三
* (郡代一卷之儀取扱方申聞置書付) 長門・美濃宛 (享和三)	半	一通	九三
酒部舍人・仁尾内膳連署書狀 (家老中宛) (郡代御咎落着二件ニ付)	半	一通	九三
不正約書	半	一冊	三六
○ 地方一件			
(海部表御歸古一件) 寬政六一〇	半	三冊	五
(海部郡淺山川村并牟岐七ヶ村百姓共不心得ニテ土 州表之爲豫罷出候始末申上帳)	美	一冊	五五
美馬三好之事	半	一冊	三五
三好郡上名村一件始末都帳	半	二冊	三四
○ 地方取調			
(郡在々之様子作方其餘申上帳) 寬政八外	半	二二冊	三〇

御巡路筋村續并道程高家人數神社佛閣古城跡 舊跡其外品々帳	美	一冊	三五
御通行筋村々取高數人數神社佛閣大綱記	美	二冊	三五
○ 番 所			
阿波國淡路國諸番所改帳 正徳六	美	一冊	三二(三)
御代官所支配之御土藏御番所御番人數御武具并 御番所御掟書文段寫書相改指上ル帳 享保一四	美	一冊	三九
淡路御國御番處畫圖 寬政五	40.1 x 104.4	一鋪	1100
町奉行所			
御家老之面々々町奉行之被相渡候御書附寫 (寬永一四一享保六)	美	七冊	三三
★ 裁許處・町方・御普請奉行元居書拔 (寬永一四一天保)	半	一冊	二五(四)
市郷元居書拔 (承應一寬政)	半	一冊	二五(一)
御仕置御家老々町奉行之被仰渡候御書附之寫 寶曆五	美	一冊	二六(四)
勘定所			
諸職人作領定書 寬永一七	美	一通	九六
御判物并御家老方書付寫	美	一冊	三一
附勤來記錄之寫 御勘定所 (天和三一享保六)	美	一冊	三三(三)
御判物寫 勘定御奉行・御蔵奉行 享保一五	美	一冊	三三(三)
御蔵所			
* 御蔵處勘定方林方元居書拔 (正保一天保)	半	二冊	二五(一)

*綱矩御證文 (御藏奉行宛力) 貞享元 一通 九七

*藏入米麥雜穀ニ付藏奉行之申渡覺 享保一五 一通 二〇〇

*御判物寫 勘定御奉行・御藏奉行 享保一五 美 一冊 三五(三)

普請奉行

*裁許處・町方・御普請奉行元居書拔 (寛永一十天保)

半 一冊 二五(四)

*御判物寫 御普請奉行 承應二 半 一冊 三五(一)

普請奉行共々指出候舊記控 享保一五 美 一冊 三九

阿州城下助任橋破損一卷帳 享保一五 美 一冊 六九

定普請之者一卷覺書 享保一五 半 三冊四通 六九七

芝御屋敷新道被仰付之節留帳 享保二〇 美 一冊 六九

御城下町寺嶋橋御掛直一件 寛政三 美 一冊一鋪 七〇

御普請奉行之被仰出伺書控 寛政五一文化五 美・半 二冊 三〇

嶋々丁名改目錄 文化九 一通 九六

亭並門出張之事ニ付御普請奉行之指上書 (御目付并御留書懸リ合株書) 一通 一〇〇

二通 一〇〇〇

御納戸支配

御納戸支配申繼帳 明和三 半 一冊 二六

御刀番

御首途より江戸御着迄仲間申談帳 寶曆六 美 一冊 一四

供先用事控 寶曆八 美 一冊 二九

御國分御刀番假控 寶曆一〇 半 一冊 二四

御參勤御道中御番并諸事申談帳 寶曆一一 半 一冊 一四

御刀番道中申談帳 明和三 半 二冊 一四

御刀番御道具方御竹水番御徒士目付御刀番書記 諸御用帳 (明和三) 半 一冊 一三(一)

御刀番裁判與御納戸并富田共御繪師諸御用控帳 明和三 半 一冊 一三(一)

奧小姓

*元公様御收御用掛與御小姓手許控 享和元 半 四冊 七(一)四

*元公様元夫人様御祭儀與小姓手許控 享和元一文化元 半 四冊 六(一)四

*穆公様御收御用掛與御小姓手許控 文化一一同一三 半 五冊 七(一)五

*景公様御收御用掛與御小姓手許控 安政六一万延元 半 四冊 七(一)四

*戴公様御收御懸與御小姓手許控 (慶應四) 半 二冊 七(一)〇

*戴公様御收御用書留 美 一冊 六

御用懸爲心得記置候御品 万延元 半 一冊 六

御墓山御番

御山上御番申繼帳 安政六 半 一冊 五五

(大龍院様御山上御番申繼帳) 慶應四 半 三冊 四三

*御山上御次第 半 一冊 二七

御巡見

○公儀巡見

*上使之衆御國廻之時忠英被仰出心得書

御國目附差遣之旨御老中々之御奉書 延寶七

御巡見使之節惣肝煎手許控帳寫 寬政元

(寶曆一寬政)

御巡見様御三方様美馬郡御通行筋并御宿々にて御尋ニ付御答其餘之運相約申上帳面 寬政元

御巡見使并御家來々阿淡市郷之者問答都帳 寬政元

御巡見御目附御三人御船頭付帳 寬政元

名東名西麻植三郡御巡見使御通行村々役人共御案内御尋答并麻植塚村御宿仕成約帳 寬政元

御巡見使阿淡御行程御宿休附帳 寬政元

阿波之國御目付差遣之旨奉書

(津田外記外四國九州國廻ニ付淡路々大坂立之海路被仰付書付)

(津田外記外船中供人數之覺)

*阿波國御行程圖

藥草爲見分公儀御役人罷越候節之書拔 (享保二三)

○藩巡見

宗員様御代阿淡御巡見一卷控 享保一四

御船數帳 淡州爲御巡見御出被遊以節指上天保二三

土地・山林

勝浦郡之内生夷谷鶴林寺領鶴敷地村御檢地帳之寫 寬永一七

檢地凡例

大坂商人大和屋金銀出入公訴一件 寬文年中

舊城山立木目通にて四尺廻り以上ノ大樹取調書 明治三三

戸口

前野三右衛門一卷帳 延寶八

*宗門改勵行御書付ニ付阿波守書狀寫 (寬文一一一延寶四)

兩國一圓拾貳郡人數改帳面公儀之指出候寫并江戸留守居共々書狀控 寬延三

淡路國三原郡反別戸數取調書 明治二二

淡路國津名郡反別戸數取調書 明治二二

阿波淡路御國分奉公人改帳 慶安二一

(轉切支丹類族死亡帳之書拔) 公儀之御指上被遊候御帳二冊之内 元祿二

轉切支丹類族御届一卷 (寬政六以降)

貢租

○高物成

(益田八右衛門宛德米取立方指紙)	慶長八	一通	二〇五
ひの木柱注文寫		一通	一三〇(〇)
繪御材木直段付仕御帳	慶安元	二冊	七五
阿波淡路御國竹帳	慶安三	二冊	六九(六〇)
阿波御國分萬雜穀帳	慶安四	一冊	六六
豫州新居字摩郡寛文五年御成々目録	寛文五	一通	二〇六
上納御材木帳	延寶二	一冊	六四
御兩國高物成井村付夫役諸運上其外上銀品々帳	延寶四	一冊	六三
阿波淡路御兩國御藏入高村付御帳	天和二	一冊	六三
上納米一卷控	證文添 享保七・一三	半 二冊三通	六六
藏入米麥雜穀ニ付藏奉行之申渡覺	享保一五	一通	二〇〇
奥野村獻上六助大豆員數面附帳	書付共 寛政一〇	半 一二通	六七
諸見分之卷		橫長半半 一冊	一四九
御仕解殘元々壹步通取立帳		半 一冊	一四四
津名郡之内五拾壹ヶ村去己年請帳書出并諸運上共		半 一冊	一四三
(一字山御高物成算用書)		一通	一〇一
* (御家中御役付并阿波舊傳實積其他書留)		半 一冊	七五
* (貢稅收支見積書)	明治三	半 一冊	一四九
稻田九郎兵衛舊拜知正稅取調書	德島藩 明治四	半 一冊	一四三

○町役

財政

○收支

八町堀之御家町人ニ借申家賃并町役拂申覺	寛永八	一通	一〇六
御萬様御臺所御賄方惣目録帳	寛永六一八	美 一冊	六七
御前様千松様江戸御下向之時金銀小袖其外請拂帳	寛永八	美 二冊	二〇
(算用方ニ付申付之覺)	天和三・享保一五	二通	一〇四
豫州新居字摩郡巳年御勘定目録	寛文七	一冊	六七
江戸御下向之時金銀請拂御目録	寛文七	六冊	六八
御兩國諸御用方遂勘定候者共帳	貞享二一四	美 三冊	六九
大坂借用金證文寫 (正徳一享保三)		美 一冊	六八
諸奉行勘定帳	享保一四	美 一冊	六〇
賄所下代共詮議之趣申出ル控	享保一八	半 一冊	三〇
寶曆六年〇翌年迄御儉約ニ付及手配候拔書	寶曆六	美 一冊	二六(〇)
御召物御入目高差上帳	寶曆七	半 一冊	六八
御儉約中諸御入目積帳	寶曆八	美 一〇冊	六九
池田浪江存寄書	添帳共 安永七	美 二冊一綴	三二
高物成并御宛行被下被召上指引書	天明元一文化七	半 一三冊	六四
(御勝手御行詰ニ付片山・津田兩人存寄書)	天明七	半 一冊一通	六〇

年中惣入用高卜諸上納物指引書 天明八 半 一冊 六三

御賣米代并諸手崎上納都御不足指引帳 天明八 半 一冊 六三

上々様御極銀并諸手崎御入目大綱都帳 天明八 半 一冊 六四

江戸京大坂御國御借銀御納入大綱 天明八 半 一冊 六三

(御勝手向存寄草案) (天明八) 半 一冊三綴 六三

御書附之假控 (寛政八カ) 假一冊 四四〇

御土藏入御用金員數相記帳 寛政一一・文化四 半 二冊 六五六

(實稅收支見積書) 明治三 半 一冊 一〇六

御銀出納都 半 一冊 六三

諸御役處建置銀上納之株書上 一通 一〇六

(御手傳御用金調達方藏元口上書) 一通 一〇六

(御勝手方行迫ニ付存寄書) 半 一冊 六五

○拜 借 逼塞人物成諸役銀を以御借物上納并他借返辨帳 美 一冊 六九

元祿四 〇銀 札 銀札遣御控書寫 天和元 半 一冊 六元

銀札一卷帳 享保一五 美 二冊 六〇一

銀札遣ニ付御掟書并御觸書 (享保一五) 美 二冊 六三四

銀札場御證文并御控書寫 (享保一五) 美 一冊 六三

(阿波淡路銀札遣御一統之義ニ付双方御奉行諸事 申合覺) 享保一五 一通 一〇七

(阿波淡路御兩國中金銀札遣ニ改仰付書) 享保一五 一通 一〇八

(御兩國銀用被札通仰付候節一卷) 享保一五 三通 一〇九

銀札通用書拔 享保一五・寶曆四・安永八 一通 一〇九

(須本御札場役人名面帳) 享保一五 一通 一〇九

銀札場壹卷之儀ニ付取遣リ之書狀并書附 享保一九 美 一冊 六三

(銀札場手傳手代之長屋御貸ニ付覺) 享保二二 一通 一〇九

(御引除金請込證文添共) 寛政一〇 四通 一〇九

(銀札場會計ニ付蜂須賀賢之丞へ被下御判物控 并御達書) 享和元・三 五通 一〇九

吟味目附心得之義目附共ノ窺出并相尋候往返一卷 享和一 半 一冊 六三

塀裏銀札場指圖 一鋪 六三

中津浦銀札紙渡所指圖 一鋪 一〇九

○産物・專賣 (藍玉商方之儀ニ付問屋仲買願出口上書之覺) 享保一五 美 一冊 七三

藍商賣之義ニ付御老中へ御指出之控并老中 御成下之御控共 明和三 二通 一三四

京都藍問屋一卷 天明四 半全 二冊 七四(一)

(江戸藍店一件書類) 天明八一九 半 一冊三通 七四(二)

藍方御雇小手代并日雇小手代步懸リ不被召上分 藍作一卷 横長半半 一通 七四(四)

藍作一卷 一冊 一四〇

○御用商人 由緒書并御借銀一卷 美 二冊 八〇

褒賞

淡路國市郷孝子行狀書 寛政

半全 一冊 三五

孝子錄

美 一冊 三五

建白

賀嶋兵庫奉指上帳 添狀共 但御政事務之存寄書
寶曆年中

半 三冊一通 三八

(佐渡半兵衛・賀嶋勘解由存寄書并添書) 寶曆七

美 八通 九四一五

集堂勇左衛門言上扣

美 一冊 五三

山口傳右衛門上書 添狀共 戊七月

二通 一〇〇一

長州三末家并吉川監物名代之者之差出候歎願書寫 半

一冊 一四四

尊皇攘夷ニ關スル建白書 慶應四・明治二

一四一五

雜

秤座越久田宛判物寫 (天正二一・天和三)

一通 二二三

諸御屋敷爲知板木御打七被成候ニ付御届有無之
於御尋ニ付差出候御書付 寶曆一〇

二通 一〇〇

於江戸町半鐘打方之書付

二通 九六

鳥越一件御書通控 寶曆一

美 三冊 二〇五

蜂須賀太郎兵衛・同金左衛門一卷書付 寶曆

四一通 二五

別子銅山新規水拔御差留一件 文化元 一冊 八〇

(別子銅山一件ニ付勘定所指出繪圖寫) 文化元 一通五枚 一三三

別子銅山小足谷新水拔之義ニ付小笠原和泉守
御演達書寫 二通 一四六

御伺書御控 文化六一九 半 一冊 四〇

高田屋金兵衛一件 天保四 半 三冊一通 三五

軍事

武備・軍法

唐島在番中蓬庵陣中法度書 文祿三 (天保八寫) 一通 一五

陣中法度書 寬永以降 一五通 一四

先手旗本法度書 寬永一五 二通 二五

軍法御觸定 寬永二一・慶安六 (寛政六寫) 半二冊一通 七五

忠英軍法書 寬永一六 三通 二五

軍法面々關船ニ乘人數定之跡書 寬永二〇 (天保七寫) 二通 二六

(忠英御備之儀御尋箇條長谷川近江申上覺) 寫 半 二冊 七六

寬政二 (鐵炮之玉藥下積之覺書) 明曆元一二 六通 一四

(臨時出陣之刻仕置方覺書) 家老中宛 寬文五 一通 二六

御舟組帳書改ニ付覺 寬文一〇 二通 二六

(御軍法人入替一條家老中存寄書) 寬文一〇 二通 二六

正能軍法書 在國家老侍中宛 (寛文)

御兩國惣御鐵炮頭申談覺書帳 元祿二

寛文軍帳調ニ入用之品神田内匠・西尾數馬方指上候書付類

御軍叟愚考 寛政二

臨時人數配布御書附 文化五(天保八写)

軍中法度

(陣取之法擬書)

御軍法大意

御軍事品々定

(御備組定外寫)

御船數之覺 寛永二〇・明暦元・貞享三

御軍船數大体 御船行列書共 (天保一二)

御家老船置場之事書拔

御當家諸士心得之卷

寛永年中御役付御先手備 (寛永)

先手旗本左右御備之圖式 寛文二〇

旗本備 (元祿六)

御船御行列 元祿七

武備帳之目錄覺 元祿一〇

横卷半 一通 二五

一通 七六

美 三冊二通 七五

美 一冊六通 二五

美 一冊 七六

美 一冊 七六

半 一冊 六二

半 二冊 七五

四通 七五

半 一冊二通 七四

半 二冊 七五

三通 二五

半 一冊 七六

半 二冊七卷(一) 七六

一三卷 二五

半 一冊 七六

七通 八六

五通 二四
二四
二五

享保十一年ノ軍備 享保一

武備帳之目錄書拔 寛政二

御軍帳一卷御手控 寛政五

(先手旗本左右押合御備陣立書)

(先手・旗本・左右備帳)

(御備行列書)

(野戰備立繪圖)

軍備堅卷

陣營

(軍帳箱入開緘筆寫之覺) 天保七

御軍帳類長持入組目錄假帳 天保七

大御文庫御弓之書目錄 天保一二

武藝指南面々藝方名目傳來書 寛政元

西之御丸御馬場ニテ騎射被仰付控 寶曆一〇

步帳 戊七月

要記

武門輯記 (安永五写)

備おしさほうの圖(小畑勘兵衛寫)

信玄武者押圖

美 一冊 七六

半 一冊 七六

美 二八冊 七五

美 一六折 七五

半 四冊 七六

一折 七五

一通四枚 七五

美 一冊 七五

美 一冊 七五

二通 二四

美 一冊 七五

横長半 一冊 七五

半 三冊二通 七四

半 一冊 七五

半 一冊 七五

美・半 一冊 七五

半 一冊 七五

一卷 七五

一卷 七五

軍 役

慶長年中益田玄蕃御軍役割	天保八寫	一通	二五
御先手中備御手廻御鐵炮頭御軍役帳	(元和五)	一冊	七五
(光隆様御代軍法書)	臨時軍役手當銀之定并出役人數之覺書	寬文四	二二
正能・正民書狀	(家中軍法役付改遣之節家老中宛)	(寬文)	二二
寬政度軍役割證文取調之節普請奉行伺并取調ニ入用之品々書留	寬政	一二通	100
御軍役割寫	天保八	二冊	七五
軍役割取扱之事ニ付普請奉行へ相渡候書付	天保八	一通	二五
(軍役割ニ付普請奉行取調伺書類)	(天保)	二〇通	二五
御軍役割伺之義ニ付奉申上覺	普請奉行	一通	二五
被仰出候御軍役之積		二通	二五
軍役之内加子役ノ儀御尋ニ付申上覺		一通	二六
(山田豊前旗之儀ニ付御普請奉行伺書類)	天保一一	三通二枚	二四
軍役積		美 一冊	七七
(御軍役之覺)		美 二通	二四 (二四 七八)
軍役之帳		半 一冊	七五
軍役諸道具附之帳		半 四冊	七五
備人數之覺		美 一冊	六六

御家老一手備

武器具

持參之道具并玉藥之覺		二通	二六
持參并餘慶道具之書付		七通	二六
持參并餘慶道具之書付		六通	二七
持參鐵炮弓着込并餘慶具足甲之覺		四通	二七
洲本御武器帳	享保一九	美 一冊	七五
富田御屋敷御武器道具御帳	享保一九	半 一冊	七五
御武器帳	天保二三	半 二冊	七六
諸御番所ニ御指置之御道具取調帳		半 一冊	七九
御陣屋其他御番所之御渡置御武器調帳		半 一冊	七九
御櫓古帳	(元和八一貞享三)	一通	七六
諸御櫓御道具書拔御帳	寬政四	一冊	七三
(諸御櫓御道具帳)		半四半 一冊	七三
(御馬道具其他品、御櫓有目錄)	享保一九	美 一冊	七三
御家中甲立物其他所持物記錄	寬永一五	美半 一冊	五七

橫長半

一冊 七九

(御家中御武具帳御改書類) 寛政三 一〇通 二〇〇

家中武道具之帳 (家中武道具定書付・番甲帳・家中甲立物帳) (寛文一一) 美 五二冊 五九

徳島御持筒其他御支配假名帳 享保一九 美・半 二冊 六〇〇

兵具割入方取調帳 半 一冊一通 七〇

御定御武具圖式 半 二冊 七〇

御旗仕立之記 一通 七〇

(刀劍鞍鎧其他取調帳) (天明) 半 一四冊 七〇

(番具足等取調) 一通 二七

(武器諸書拔書) 一通 二四〇

馬道具之卷・馬道具名所之卷 寶曆二二 二通 二七

焰硝藏

(名東郡田宮村三谷下津浦焰硝御藏被仰付候一件書類) 七通三鋪 二七

田宮塩焰硝御藏指圖 1796×202.2 一鋪 三三

塩焰硝御藏繪圖 74.5×101 一鋪 三五

名東郡堂谷塩焰硝御藏差圖 114×59 一鋪 三九

馬

御家中騎馬之面々手馬毛附 (寶曆) 横長美 一冊 六一

須本騎馬之面々手馬毛附 (寶曆) 横長美 一冊 六一

戰陣

○長曾我部征伐

貞光谷彌谷宛秋長催狀 (寫) 九月廿九日付 天正一三〇 一通 二九〇

南源六同八藏宛稻田小八郎書狀 (寫) 九月卅日付 (天正一三〇) 一通 二九〇

南源六宛井伊掃門書狀 (寫) 十月十日付 (天正一三〇) 一通 三九〇

○朝鮮出兵

*唐島在番中蓬庵陣中法度書 文祿三 (天保八寫) 一通 二五

唐島在番中福島大夫宛蓬庵頼狀 文祿三 (天保八寫) 一通 二九

○大坂陣

大坂御陣有人帳 (慶長一九) 半 一冊 七五〇

大坂濫妨人之帳 慶長二〇 美 一冊 七〇

大坂濫妨人落人改之帳 慶長二〇 美 一冊 七〇

感狀 山田織部宛 一通 一〇五

(朝鮮并大坂陣之帳并御家中役付帳) 半 六冊 七五

大坂并廣島陣中之刻人之名付 横長美 一冊 七五〇

○島原陣

(島原陣御備帳) (寛政二寫) 半 四冊一通 七三

島原御本陣人數帳 半 二冊 七五〇 (三四)

島原御陣御旗本座備略圖

一卷 二四〇

海防

異國船御手當一卷 寛政五—文化四

半 三冊 三四三

(異國船渡來ニ付海部郡中狼烟場取極方親書繪圖添) 弘化二

二通三枚 二六六

(攘夷一決ニ付京師并淡州警衛方勅書寫) 文久三外

二〇通 二二三

藩士

分限帳

(慶長貳年略分限帳)

横長半 一冊 七六〇

御兩國分限帳 (寶永頃)

美 二冊 四三〇・四六六

江戸分限帳

美 一冊 四六四

宗領様御代御家中分限帳 但御西国江戸京大坂共寛延三—寶曆四

美 四冊 四六六

寛永之頃々慶安度迄阿淡御兩國無足以下分限帳

半 一冊 四七〇

貞享之頃々元祿度迄阿淡御兩國無足以下分限帳

半 一冊 四七〇

元文之頃々延享度迄阿淡御兩國無足以下分限帳

半 一冊 四七〇

無足以下并御合力共分限帳 但兩國京大坂共文政一—改

半 三冊 四七〇

江戸詰無足諸士以下分限帳

半 一冊 四七〇

洲本諸士分限帳 安政六

美 一冊 一四九

洲本諸士分限帳

美 一冊 一四〇

洲本無格分限帳 (一・二) 安政六

美 二冊 一四〇

洲本無格分限帳 (一・二) 明治

美 二冊 一四一

具服橋御分知御家中分限帳 (延寶六)

美三分一 一冊 四六五

家中知行高取名面 享保三以降

横長美 三冊 四六七

江戸住御家中名面 享和元・文化二—

横長半 二冊 五二〇

無足々小姓小奉行格迄名面帳 文化二三調

横長半 一冊 四七三

(御徒士支配名面書留帳) (文政五々天保二)

横長半 一冊 五五九

享保三戌年以後新ニ被召出候分又は無足々高被下候類子弟共名面調 文政一

横長半 一冊 五〇・五六

享保三戌年以後新高被下候名面

半 一冊 五五七

御家中増減調

横長半 一冊 五二一

御國許御家中増減調 文化一〇—文政八

半 一冊 五二三

須本御家中増減調 文化一〇—文政八

半 一冊 五二四

江戸住御家中増減調 文化一〇—文政八

半 一冊 五二三

代替録増減被召上御雇之類名替斷絶調帳 但須本 江戸共 文化二—文政元

半 一冊 五二五

從天保六未年弘化元辰年迄拾々年之間居リ新被下并被召上都帳 弘化二

半 一冊 五二九

兩國ニ殘置侍共之書付 萬治二
 德嶋ニ殘置侍之覺
 (門之三道具建置并拍子木爲打候名面 添共)
 三 通 一〇四
 一 通 一〇五
 四 通 一〇六

知行

蓬庵御折紙寫 慶長一七 三 通 一六〇
 德善孫三郎宛知行狀寫 慶長一七 一 通 一六一
 南八藏宛知行狀寫 慶長一八 一 通 一六二
 中尾佐五右衛門宛至鎮知行狀 元和二 一 通 一六三
 其方知行方書出覺(倉知左近右衛門宛至鎮知行狀) 元和六 一 通 一六七
 坂口次郎助宛蓬庵知行沙汰書 寬永三 一 通 一六九
 池田山城宛忠英知行狀 入付役付狀共 寬永五一 一 通 一七〇
 馬地村政所藤右衛門宛知行狀寫 寬永九 一 通 一七五
 荒木清右衛門宛忠英知行狀 入付役付狀共 寬永一一 一 通 一七六
 南助六宛加増知行狀 慶安四 二 通 一七九
 和田喜左衛門宛知行高目録并役付 万治四・享保一五 二 通 一八〇
 (大羽金左衛門宛知行高目録并役付覺) 延寶一 二 通 一八六
 天羽半兵衛宛知行狀 高目録并役付共 享保一五 四 通 一八七
 生嶋虎之助宛知行狀 寬政六 一 通 一八八
 奈良井勘兵衛之被下置候光隆様御判物寫 文化一〇 一 冊 一九三

宗員様御代御兩國諸士之被下御判物控 享保一五 一 冊 一九三
 享保一五 一 冊 一九三
 賀嶋伊織遣知行高折番目録役付并知行割役改書付控 享保一六 美 一 冊 一九九
 於江戸諸士知行所附遣控帳 享保一六 美 一 冊 二〇〇
 齊昌様御代判物折紙并知行高目録役付 文化一 一 冊 二〇一
 文化一 一 冊 二〇一
 治昭様御代指遣知行高目録役付(寫) 寬政三 一 冊 二〇二
 治昭様御代指遣知行高目録役付(寫) 寬政三 一 冊 二〇三

御家中之面々之被下置候御判物御折紙相認ル控 (森川宗次・堀尾官五・安川増之丞) 寬政三 横長半 一 冊 二〇四
 御判物假控 (森川宗次・堀尾官五・安田増之丞) 寬政三 横長半 一 冊 二〇五
 御判物被下置面々名面相調ル控 寬政四 横長半 一 冊 二〇六
 寬政三亥年之文化元子年迄之間御判物被下置候名面書拔 半 一 冊 二〇七
 御家中之面々之入御覽候御判物御調控 (森川宗次・堀尾官五) (寬政) 横長半 一 冊 二〇八
 御判物被下置候名面 横長半 五 冊 二〇九
 (假證文受取并指戻之面々取調書類) 寬政四 横長半 三 冊 二一〇
 四百石之侍増減調書 一 通 二一〇
 (給祿増減調書) 文化一二 二 通 二一一
 御知行割符之御帳(寫) 寬永七 美 一 冊 二一二

御知行割符之御帳(寫) 寬永七 美 一 冊 二一二

忠英様御代兩國内寺領社領在郷侍鷹師大工御支配帳 寛永一八 美 一冊 四七

忠英様御代御家中知行高役高之帳 正保四(慶安四・天保一)寫 半 二冊 四七

於阿波淡路所々知行高之帳 慶安三 美 一冊 四七

光隆様御代阿波淡路侍寫知行高并役高之帳 承應四(天保一一寫) 二冊 四七

御家中知行高御役高帳 文政一一 半 一冊 四六

洲本御家中知行高并御役高帳 文政一一 半 一冊 四六

知行替ニ付定屋浦仕上證文 正保四 二通 九四

知行高改正申渡書 二通 六六

侍中知行物成書上方ニ付山田豊前書狀 一通 一〇三

拜知水帳 美 三冊 三九

(賀鳥伊織支配村ニ拜知指出水帳) 享保一六 美 一冊 六四

伏屋六兵衛知行所之帳 正徳四 美 一冊 六四

扶持 (於江戸御萬様被召使人御扶持帳) 寛永八 美 三冊 三七

稻田修理家來侍中須本引料米高 寛永八 美 一冊 四六

因幡様衆御扶持方御支配帳 慶安三 半 一冊 四六

御兩國并京都大坂御扶持方御支配帳 寛文六 美 一冊 四九

御扶持方取名面 文化一一 横長美 一冊 五二

飛驒守様御家來衆御知行御支配御扶持方御帳 亥六月 半 一冊 五〇

御扶持方御支配之帳 美 一冊 五三

(御合力扶持寺院共名面) 横長半 一冊 五四

(江戸表御合力類御扶持人名面) 半 一冊 五三

定扶持支配 一冊 五三

(江戸并御國許御扶持方被下候分調書) 二通 一〇六

(貳百石以下馬持飼料簡略ニ付差止申渡書附) 申三月 一通 一〇九

(米渡方證文) 慶長一七 一通 一〇七

支配加増米渡方證文 慶長一七 一通 一〇七

(代官所藏米代銀請取御證文) 慶長一八 一通 一〇八

(米渡方御手形) 元和九 一通 一〇七

(知行扶持米渡方御手形) 寛永三一 一通 一〇八

(扶持渡方御手形) 寛永四一 一通 一〇七

(金銀渡方御手形) 寛永五 二八通 一〇六

(金銀渡方御手形) 寛永六 五通 一〇七

(江戸詰之者御扶持方金銀米請拂帳) 寛永六一 一冊 一三

(支配米加増米渡方御手形) 寛永一一 二張 一〇〇

(知行并支配米渡方御手形) 寛永一三 六通 一〇六

(支配米加増米渡方御手形) 寛永一三 二七通 一〇七

藩士 知行 拜知水帳 扶持 高役

○ 高 役

御役人帳 添狀共 (寛永一七)	美	一冊一通	五五
森甚五兵衛役定之覺 寛永一八	半	一通	一〇七
寛永年中八與之内六與分御役高書記帳	半	一冊	五六
(森甚五兵衛之賦役指出方覺) 正保四	半	一通	一〇三
御判物寫 御普請奉行 承應一	美	一冊	二三五(一)
御役改之御帳・同目錄帳 延寶三	美	二冊	五五
御役定覺 若山新七宛 元祿三	美	一通	一〇九
御役改帳 目錄共 享保一一一六	美	一〇冊 八通	五九十四
(賀嶋伊織役定ニ付普請奉行之申渡覺) (享保)	美	一通	一〇八
御石場ニおゐて御鐵炮之者之御定書 寛政二	美	一通	九四六
御役割御用控 寛政五 (天保八改)	美	一冊	五五
江戸住之面々御役割御證文之儀ニ付心得方并控 天保一一	美	一冊一通	五六
御家中御役高井御軍役割都帳 附御両国江戸京大 坂住高郡分都帳 弘化二	美	三冊一通	五六七
(御役定調書付) 弘化二	美	五通	一〇二一
高役人數調帳	半	一冊	五七
御家中御役付并阿波舊傳貫積其他書留	半	一冊	五五
(夫役御役割之事)	半	一通	一〇三
(御役割并御軍役割別帳引合書)	半	一通	一〇五
(御地方被下置ニ付御役相増候儀書上)	半	一通	一〇四
拾三與出入并役付之覺	横長美	一冊	五七

板野阿波美馬三好四郡無役在所相記帳 享保一四 美全 一冊 二六四(一)

○ 役 銀

(服部志摩丞外四人滯役銀指上方申付覺) 正保四	美	一通	一〇六
(賀嶋長門部屋住領御役銀指上方ニ付覺) 万治三	美	一通	一〇六
(御役御免之家中江戸ノ罷歸後召上方改申渡覺) 元祿八	美	一通	一〇五
(御家中嶋ニ宗門御用相勤中老御役銀引申渡狀) 元祿一〇他	美	一通	一〇六
(團善右衛門等四人滯役銀指上方覺)	美	一通	一〇七
(山川長右衛門役銀指上方申渡覺)	美	一通	一〇九
(家中役銀取立方申渡覺) 亥一二月	美	一通	一〇八
石場役銀并冥加銀取立運并員數書上 普請奉行	美	一冊二通	一〇二
(長坂三郎左衛門等役銀滯取立方申付覺)	美	二通	一〇三
(御役銀指上方ニ付普請奉行ノ指上書)	美	二通	一〇三
(家中滯役銀之儀ニ付賀嶋主水峰須賀隼人書狀)	美	二通	一〇四

格 式

中老嫡子舊格 長谷川近江宛峰須賀備前書狀添	半	一冊二通	三六四(五)
(御直書之内被之字用ヒ方ニ付御代々様御日記書 抜) (慶長一寶曆)	半	一冊	三六四(一)
中老道中并江戸供廻り御作法成來り	半	一冊	三六四(一)
中老御使者一卷并嫡子嫡孫鎗妻女長刀之事	半	一冊	三六四(三)
中老肩衣挾箱乘物等之事	半	一冊	三六四(四)

* 諸御役人被仰付來格式之帳 寶曆 半 二冊 三三
 * 須本惣御役人格式勤來候覺 寶曆 美 一冊 三二

勤 仕

(江戸遣使并勤番侍借銀之定) 承應二・享保一三 四通 二七一

御山御弓櫓年々艸案 寬政八一 一冊 六六

(御内御用物送御用控) 天保八一安政元 半 三冊 三六

(森佐太右衛門笹山伊左衛門勤伺一卷ニ付口上之覺) 一通 二四〇

(賀嶋半太郎勤方申渡覺) 一通 二三元

上屋敷在番名面書 一通 二四三

每日所々御番相改御帳 (午・未・酉年) 橫長半 四冊 五四九

(家中諸土運塞之面々年頭之外出入無用其外寄會出入之際心得方申渡覺) 酉三月 一通 九四五

集堂勇左衛門病氣ニ付岩田平藏・増田半兵衛懸合一件 半 一冊 五二

(東京在番被仰付届書) 明治元一二 一綴 二四三

御家從勤向手控 明治三〇 橫長四半 一冊 一四五

由緒・勤功書上

御国分御刀番役控 寶曆一〇一二 一冊 二四一

岡助市傳來之覺 寬文六(天保二三寫) 美 一冊 五四

任 免

山田内膳勤功書 享保一七 美 一冊 五六

藩士 勤仕 由緒・勤功書上 任免 舊紙 相續

賀嶋主水就病氣仕置方斷之段々書付控 貞享元 美 一冊 二六四(一)

山田織部ニ仕置用方申付候始終留書・長谷川主水ニ仕置用方申付候口上書 貞享元 美 一冊 二六四(二)

山田織部ニ仕置用方之儀申候趣ニ付織部請不仕候段々控 貞享三 美 一冊 二六四(三)

蜂須賀隼人御願之一卷御帳 (元祿頃) 美 二冊 五八

* 御品書帳之拔書 寶永三十一明和六 橫長半 九冊 二九

* 賀嶋出雲御仕置御用被仰付候節御目附之御渡被遊候御書付 戊七月 半 一冊 四八

* 御着府以來御留書控 寬政五 半 一冊 四八

佐渡美濃御家老役被仰付一卷 (寬政五) 一冊九通 五五

若狹様内預ニ付蜂須賀信濃御家老職被仰付候一卷 寬政二三 六冊二通 一三五

(役替并加増申付書) 八月十日付 一通 一〇一

誓 紙

(家老起請文) 慶安五―承應元 一通 一〇五

(光隆逝去後幼少家督ニ付家老連判) 起請文前書 寬文六一―一 一通 八五

相 續

蜂須賀山城訴訟一卷 (承應―明曆) 半 二冊一通 五五

中老物頭家督其餘書拔 (承應―明曆) 美半 一冊 五六

賀嶋主人死後相續之義ニ付綱矩書狀并口上書寫(延寶七カ) 一通 一四七

稻田九郎兵衛養子始終之留書帳 天和四 美 一冊 五九

(家中跡目減之砌所務方ニヨリ役目割符改之覺)
寶永二

一通 一〇六

長谷川伊豆死去ニ付家督相續并家督之禮品控帳
享保一四

美 一冊 五九

加嶋伊織一卷控 享保一八

美 一冊 五九

池田山城養子一卷 明和八

五通 一三四

池田家被仰出一卷御控 寛政三

半 一冊 五五(一〇)

雄吉様池田周防方之急躰養子被仰付一卷 文化三

美 一冊三枚 一三九(一四)

御家中高取之内代調 文政四

半 三冊 五六

(郷土格森梶郎嫡子安之丞願一件) 文政九

半 二冊一綴 三四

(山田貢隠居ニ付長谷川民之助方之申遣覺)

一通 一〇四

(仁尾源次郎病氣ニ付養子名代勤一條)

一通 一〇四

山田豊前書狀 二月二五日

一通 一〇四

定府高取斷絶之家調書

一通 一〇四

(山田織部病氣ニ付知行指上願一條口上之覺并御請書)

七通 一〇七

賞 罰

(賞罰帳書抜) (承應元一天明八)

美・半 二冊 五七

御賞罰記録假御帳 寛政三十八

半 六冊 五七

(賞罰帳) 寛政四一文化二二

半 二七冊 一綴 五九

賞罰御帳 天保二一安政一

半 四一冊 五九

御國賞御帳 寛政四一文政六

半 五冊 五〇

御國御罰帳 寛政四一文政六

半 七冊 五二

御國賞罰帳 文政元一弘化二

半 一八冊 五二

江戸賞罰御帳 寛政四一弘化四

半 一八冊 五三

須本賞罰御帳 寛政四一弘化四

半 一七冊 五四

兩國賞罰御帳 弘化三

半 四冊 五五

御留守中兩國賞罰御帳 弘化四

半 三冊 五六

(仁字之者共生捕ニ付家政公御感狀寫)

二通 一三二

西尾省山ニ目見申付一卷 享保一四

一冊 六三

佐渡美濃之御脇指被下置一卷 文政一〇

半 一冊 五七

内海彌五太夫褒賞他申付覺

半 一冊 九

益田豊後一件書類 寛永一〇以降

半 二〇通 一〇〇

温古録之内益田豊後一卷寫 (正保)

半 二冊 五四・八五

阿彦左馬之丞一卷寫 (正保)

半 一冊一通 五三

長井六郎左衛門尉罷越刻萬うし 正保二

美 二冊 五三

(黒田半三郎誓紙相背候ニ付切腹被仰付書) 忠英
(正保年中カ)

一通 一〇九

(久次米辰兵衛等御咎一條ニ付御書)

三通 一〇〇

賀嶋主水同彌右衛門御咎賀嶋六右衛門御家老職
御取立并近親共之御書付共 享保一四

三通 一〇五

賀嶋主水等御咎申聞書付寫	享保一四	美	一冊	五〇
山田織部滅亡一件御下書	寶曆九	半	一冊	五〇
御用控・山田織部滅亡一卷	寶曆九―一二	美半	二綴	五〇
(賀嶋上總・長谷川越前御政務御用方御免被仰付并父子共閉門被仰出書)	明和三		一通	二六三
長谷川近江退役始末一卷	寬政二―三	半	一七通	五二
(長谷川近江之職祿召放逼塞申聞覺)	寬政二		一通	二六三
戸田半作儀岩倉山ニテ稻田九郎兵衛家來成敗一件留書	寬政三	半美	三冊	五八
田村養藏御暇被遣候一卷	寬政七	半	一冊	五七
長谷川越前太田外記御咎一卷	寬政二―一二	半	六〇冊 三綴	五三
有田半右衛門存生申太田四郎吉御預取扱不届二付申出一卷	享和三	半	一冊	五四
*御郡代御咎一卷	享和三	半	二冊	五三
*不正約書	御郡代	半	一冊	五三
* (郡代) 一卷之儀取扱方申聞置書付)	長門・美濃宛(享和三)		一通	九三
* 酒部舍人・仁尾内膳連署書狀	家老中宛		一通	九三
* (郡代御咎落着) 一件ニ付)			一通	九三
蜂須賀駿河閉門被仰付一卷	文政五	半	一冊	五三
御預人山口傳右衛門召捕方之手續	文政八	半	一冊	五二
(御小人株召上一件取調書類)	天保七		三冊八通	五五
(半右衛門張付仰付一件)	添狀共		二通	二〇一
(友成官左衛門不行跡ニ付屋敷申渡書)			一通	二〇四

(御刀番支配神野小兵衛病氣缺勤ノ處置不行届讀賣書)			一通	一〇〇一
宅兵衛追放所之覺			一通	一四八
御折檻狀	午十月		一冊	二四八
指控一卷書拔	文化三		一冊	四三三(一)
樋口忠三左衛門御預ノ頼狀			一通	二九〇(四)
(御仕置所動向存寄書出覺)			一通	九六九
御品書帳之拔書	寶永三―明和六	横長美	九冊	二九二
御着府以來御留書控	寬政五	半	一冊	四〇八
規 式				
萬日帳 (正)	寬永三―享保一六	半	一六三冊	五九
萬日帳 (副)	寬永三―元祿九	半	一二五冊	五〇
御日帳書拔 (目錄繰出)		半 横長半	一三冊	五七
御家老へ御刀被下置候一卷覺書	寬文三―貞享元		一通	一四〇
* 就入國諸士規式禮之次第	享保一三	半	一冊	五
御家老御禮申上之節指上物品書	享保一七	美	一冊	六四
御家中諸士御禮指上物一卷 (享保)		美	一冊	六五
* 江戸上屋敷御小書院御禮式書圖			一鋪	二六三
上使奉札之部		半	一冊	六六
* 江戸御供之面々衣服之義被仰渡之覺			一通	一〇七

屋敷

下屋鋪帳	承應三		半	一冊	五九
(新ニ被召出面々屋敷拜領方調)	文政八			二通	一〇五
山田齊上リ屋敷割地拜領并拜借人名面帳	天保一四		半	一冊	五三
山田織部上リ屋敷割地拜領并拜借人名面帳	天保一四		半	一冊	五〇
櫻川武次上リ屋敷拜借人名面帳	天保一四		半	一冊	五八
津田磯五郎上リ屋敷割地之内拜領并拜借人名面帳	天保一四		半	一冊	五七
蜂須賀大和元屋敷割地拜領并拜借人名面帳	天保一四		半	一冊	五六
池田元太郎元屋鋪御長屋拜借名面帳	天保一四		半	一冊	五九
東御殿御長屋御指入并拜借人名面帳	天保一四		半	一冊	五〇
惣解御屋鋪拜借人名面帳	天保一四		半	一冊	五二
大井田源八上リ屋敷割地拜領人名面帳	天保一四		半	一冊	五四
富田定普請丁定普請屋敷拜借人名面帳	天保一四		半	一冊	五五
富田中御屋敷割地之内拜領并拜借人名面帳	天保一四		半	一冊	五三
物産方御役所拜借人名面帳	天保一四		半	一冊	五三
番方御用屋敷御長屋拜借人名面帳			半	一冊	五三
(家中屋敷地調書)				一通	一〇五
新ニ屋敷被下候節中老々無格迄反敷書				二通	一〇五

浪人

笹治怨玄一卷	寛文三		半	二冊	八〇
平嶋一卷	寛文五十一文化		美半	六冊	五七
(平嶋又太郎息女京都之養子ニ遣度旨願出一卷)			半	一冊	三六
元祿拾貳年同拾三辰年迄御帳之書拔				六通	一三六
平嶋一卷ニ付治昭様書狀					

雜

木村郡平同辰太郎暇願一卷	享保年間		美	一冊	三五
山尾龜藏出奔一卷	寛政六		半	一冊	五〇
芝原清助等浪人中山彌藏ト及双傷候一卷	寛政六		半	一冊	五九
柴野慶次郎長崎清人筆話并卓子次第	寛政六		美	二冊三通	七六
仁尾内膳東海道旅行之節駿府公鞠子岡部迄之間宿驛人足理不盡有之御吟味御落着御請書之寫	享和二		半	一冊	三三
志濃賦久佐	享和三		積長半	一冊	五五
小松島浦松浦一卷	文政九		半	一冊一綴	五五

交通・通信

海上交通 (含船舶)

御進上之大船同道具請取目錄 慶長一四 美 一冊 七六

小濱民部來狀并阿波守返書跡書 但關船壹艘造船之義 御老中御穿鑿之刻 正保二 三通 二二三

*御關船造船之義并阿波之御城修覆の分御老中へ御伺之控 承應三 一通 二〇六

御船組帳 延寶六 半 二冊 七三

(阿淡浦と繫之御城米船改御盾帳) 享保一四—一九 美 一〇冊 七四

(關船乘組人數割) 一通 二二三

關船乘侍中人數并船數物役人荷船乘人數并船數之帳 半 四冊 七三

安宅御有船槽立相改御帳 元祿二 一冊 七九

洲本御船大小員數并右場所間數書附 享保一六 美 一冊 七七

洲本御船帳 享保一九 美 一冊 七八

安宅有御船數帳 (元文五他) 半 二冊 七三

御船頭諸役人附帳 寬政元 一冊 一五

下灘へ御出被遊御船頭諸役人付帳 (寬政二) 半 一冊 一五

御船頭諸御役人附御帳 寬政四 半 一冊 一五

惣御有船并荷物石數積御帳 (寬政) 半 一冊 一五

御大名衆岩屋表御通被成船之儀式 美 一冊 七〇

海川御乘船名所書記御繪圖 一巻 一三四

長崎往復海上所名里數書 明和四 半 一冊 七三

德島心佐野御園境迄川北路村々道程附池田方岡崎迄御乘船路帳 半 一冊 七二(三)

御船路道程帳 半 二冊 (七一)

*由良御滯船畫圖 55×79 49×79 二鋪 一三六

諸國處々之地名類并御心覺之御書附寫 安政二 横半半 一冊 七五

勢州角屋七郎次四百解船二艘分國中諸役免許狀寫 天正一〇 一通 二二九

町便差立候節仕來之事 美 一冊 一六(五)

寺社領

御代々御判物寫 (鶴林寺) 元和四 半 一冊 一四六(四)

*勝浦郡之内生夷谷鶴林寺領鶴數地村御檢地帳寫 寬永一七 半 一冊 一四六(三)

*忠英様御代兩國內寺領社領在郷侍鷹師大工御支配帳 寬永一八 美 一冊 四九七

勝浦那賀海部三郡寺社領等之帳面 享保一五 美 一冊 七六

名東名西麻植三郡寺領社領等書記帳 享保一五 美 一冊 七七

板野阿波美馬三好四郡在々寺社領相記帳 享保一五 美 一冊 七六

富田御社之御神領高奉納一卷 天保一二 半 三冊一通 七三

御城内龍王宮諏訪明神兩社之御判物御納一卷
天保一四 半 三冊二通 七五

由緒其他

八幡宮棟札寫 慶長一六 一枚 二二七

靈應山松巖寺院號授狀 承應元 一通 二二六

興源寺之被下候御制札控 貞享元・元文四・安永六
文化一一 四通 二二九

穴八幡一件諸事控 享保一七 一冊 七三〇

淡州郡家一宮一卷書通之控 寶曆六 三冊 七三三

當山諸堂寺共棟札控 文政三 一冊 一四六六

驛路寺之事調書上 弘化元 二通 二二〇

兩國寺々記錄 美 二冊 七九

名東名西麻植三郡村名古城跡寺院成立并舊跡書 半全 一冊 七三三

* (御合力扶持寺院共名面)

御社寺出納控 明治一三・一四 半 一綴 一四五

繪圖

國圖

複製 阿波・淡路兩國繪圖 寛永力 163×304 275×200 131×222 185×211 四鋪 二九七

阿波・淡路兩國繪圖 正保三 400×354 276×186 三鋪 二六 複製

御兩國之圖 276×263 240×171 二鋪 二九 複製

阿波御國圖 天和力 七鋪 三〇〇 複製

阿波國畫圖 234×150 一鋪 三〇一 複製

阿波國御行程圖 85×80 84×80 二鋪 三〇一

淡路國繪圖 正保三 220×270 一鋪 二九五 複製

淡路御國圖 52×103 一鋪 二九九

淡路分間圖 七枚 二四九三

土州圖 85×154 一鋪 三〇一 複製

國境繪圖

御國完喰御境目小繪圖 101.6×61.4 一鋪 三三三

土州甲浦 讚岐伊豫土佐國端繪圖并裁廻繪圖 元祿二三 六鋪 三三三 複製

御城繪圖

阿波渭津城下外曲輪修築ニ付御差出繪圖控 御奉書添 延寶五 一通三鋪 一三五

德島御城之圖 表御右筆組頭御借受ニテ寫 元祿一四・天明五(天保八寫) 115.6×207.8 二鋪 三三九

阿波國德島城繪圖 天明五 86.4×119.2 一鋪 三三八 複製

複製濟城繪圖

西之御丸指圖

123.0×90.0
一鋪 三三〇

複製濟御城廻之畫圖・御城山之圖

阿波城廻之繪圖

30.2×137.2
一鋪 三三一

複製濟淡路國須本之御城繪圖

複製濟

須本御山上繪圖

120×242.4
69×175.2
95×162.8
160×169
117×388.5
59×134.5
一鋪 三三三
一鋪 三三三(甲)
一鋪 三三三(乙)
一鋪 三三三(丙)

享和二

須本御山上繪圖 享和二

221.2×118.8
一鋪 三三三

福島南東方築地住吉嶋川除堤之儀御伺之刻
久世大和守殿之御指出繪圖 但奉書寫添 延寶二

69×93
一鋪 三三三

洲本川内堀濠畫圖 寛政三

33.8×72.4 24.2×34.3
34.1×73.2 56.2×40.2
四鋪 三三〇

御役所繪圖

德島會所指圖

85×59
一枚 三三九

德島會所指圖

75×54
一枚 三三六(丁)

須本會所指圖

112×56
一鋪 三三六(丁)

佐古大谷御役所指圖

60×44
一鋪 三三三

御作事役所小細工所差圖

91.6×75.6
一鋪 三三〇

住吉嶋御材木屋指圖

78.5×83
一鋪 三〇一

洲本波戸船屋繪圖 享保一六

76×57.7
一鋪 三二九(甲)

會所町繪圖

42×60
一鋪 三九七

牢屋鋪指圖

88×63
一鋪 三三三

淡路御國御番處畫圖 寛政五

40.1×104.4
一鋪 三三〇

*名東郡堂谷塩焔御藏差圖

114×59
一鋪 三三一

*塩焔御藏繪圖

74.5×101
一鋪 三三三

*田宮塩焔御藏指圖

179.6×202.2
一鋪 三三三

御屋敷圖

○國元御屋敷

德島御屋敷敷繪圖

90×125
一鋪 三三六

德島御屋敷指圖

134×86.5
一鋪 三三一

須本御家御指圖

102.4×331.8
一鋪 三三六(乙)

(須本御殿繪圖)

富田御慰屋鋪御指圖 享保一四

112×146
一鋪 三三三

富田御屋敷繪圖 寛政五

76×54
一鋪 三三三

富田御鷹部屋御屋鋪指圖

115×90
一鋪 三三三

富田西御屋敷差圖

122×118
一鋪 三三三

(富田中屋敷其他屋敷繪圖)

一三四枚 三三一

東富田御屋敷差圖	238×198	一鋪	三三〇	新御藏指圖	138×60	一鋪	三三二
沼島御茶屋之圖	54×52	一鋪	三三三	御馬見處新規御出來繪圖	76×110	一枚	三三六
六間茶屋御屋敷地割	132×133	二鋪	三三一	八丁堀御馬見所御建繼畫圖		三鋪	三三〇
籠御茶屋指圖	59×180	一鋪	三二九	馬苦勞屋敷指圖	56×466	一枚	三三〇
檜物町御屋鋪繪圖 享保一一	68×60	一枚	三三五	御屋鋪繪圖		一〇枚	三三六 (四一三)
町御屋鋪繪圖	75×79	一枚	三三八	(御屋敷繪圖)		一鋪	三三三
寺嶋御屋鋪指圖	91×118	一鋪	三三九	御小書院畫圖 寬政七	64.5×90	三枚	三三六
出來島御屋敷指圖	70×84	一鋪	三三七	御小書院繪圖	94×66	一枚	三三三
岩屋浦御屋敷繪圖	123×110	一鋪	三三六	御小書院指圖 明和五	70×62	一枚	三三七
福良浦御屋敷繪圖	81×89	一枚	三三一	御小書院少菊菱御感狀御間迄指圖	74×62	一鋪	三三六
江井浦御屋敷繪圖	72.5×90	一鋪	三三五	御頂戴物・御祝儀等之節御居間向繪圖面 寬政九		三枚	三三三
板野郡岡崎御屋敷繪圖	57×47	一鋪	三三六	棚御繪圖	三枚一綴(四枚)	一枚	三三一
撫養岡崎御屋敷差圖	126×100	一鋪	三三三	(家根形目論見之圖)	35×24	一枚	三三五
撫養北泊り御屋鋪指圖	80.5×58	一鋪	三三五	○江戸御屋敷			
板野郡北泊御屋鋪繪圖	49×34	一鋪	三三四	上御屋敷指圖 寬文三	120×122	一鋪	三三一
由良浦御屋敷繪圖	90×87	一鋪	三三二	鍛冶橋屋敷拜領以前之主名付繪圖 元祿一一	41×28	一枚	三三六
寺嶋役者屋敷指圖	51×79	一鋪	三三〇	御望屋鋪之繪圖	97×77.5	三枚	三三六
北御藏指圖	73×118	一鋪	三三八	綱矩様御代具服橋御屋敷御普請差圖 (享保二以前)	112×63	一枚	三三三
長御藏指圖	102×80.5	一鋪	三三九				
鍛冶御藏指圖	28×89	一鋪	三三〇				

江戸上屋敷惣御繪圖	文政一	118×105	一鋪	三三三	白金御屋敷圖	明治		一綴	一三二
鍛冶橋上屋敷惣御繪圖		110×134	一鋪二枚	三三三	太刀賣御屋敷繪圖		59×109	一鋪	一三三
上御屋鋪御繪圖		166×117 45.5×31.5 42×31	三鋪	三三三	○拜領屋敷				
上御屋敷之繪圖		142×142	一鋪	三三三	(山田内膳拜領屋敷繪圖)				
上屋敷御與御支關指圖		32×60	一鋪	三三三	委細書付共 享保一七		51×120 30×35	一冊二鋪	三三六 三三六
上御屋敷御與方付申指圖		156×148	一鋪	三三三	稻田性鐵上り屋敷残り請取置候指圖		91.5×53.5	一枚	三三七
寛永年間芝御屋鋪圖		172×243	一鋪	三三三	○村役人屋敷				
芝御屋敷已歲御普請指圖		170×120	一枚	三三〇(一)	廣石中村庄屋治右衛門家屋敷之圖		84×83 51×79	一枚	三三六
芝御屋敷繪圖		160×116 68×47.5	一通二枚	三三〇 (四六)	淡州津名郡志筑濱村忍頂寺仁三郎宅繪圖		122×99	一枚	三三七
芝・濱兩御屋敷繪圖并運書之寫	戊三月	61.5×51 47×41	一通二枚	三三〇 (七九)	城下繪圖				
濱御屋鋪繪圖		84×90	一鋪	三三〇(一)	御山下畫圖	寛永一六他	74.2×111.7 84.8×74.9 344.4×333.4	三鋪	三三三 複製濟
深川御預り屋敷割渡り繪圖	享保二	33×45	一鋪	三三六	阿波之城廻繪圖	忠英様御代	170×275	一鋪	三三三 複製濟
深川御預屋敷繪圖	享保一	47.5×32	一枚	三三六(一)	阿波國渭津城下之繪圖	(天和三)	280×202	一鋪	三三六(一) 複製濟
深川御屋敷繪圖		83.5×89	一枚	三三六(一)	御山下繪圖	元祿四	192×156	一鋪	三三六(一) 複製濟
深川御屋敷御庭坪敷繪圖		57×39	一枚	三三六(三)	御山下畫圖		192×168	一鋪	三三六(三)
目黒御屋敷繪圖	寛政一	55×33	一枚	三三〇(三)	徳島繪圖		76×71 75×68	一鋪	三三三
複製濟目黒御屋敷總繪圖	寛政七	300×250	一鋪	三三三	從御城寺嶋通り出來島迄御繪圖		42.5×138	一鋪	三三三
目黒御預り御屋敷差圖		43×31	一枚	三三三(一)	富田前川助任屋敷繪圖			七枚	三三三
複製濟目黒御屋敷繪圖		209×217 47.5×62	二鋪	三三三 (一・一)	福島町裏出張繪圖	(享保)	31×130	二枚	三三三
小名木澤御屋敷繪圖		150×128	一枚	三三三	出來島・富田・佐古御繪圖	寛永一八	77.6×131 126.8×78 198.6×126.8 101.2×818.4	四鋪	三三三 複製濟

繪圖 御屋敷圖 城下繪圖

- (一) 出來島割絵圖(名前入)
- (二) 富田屋敷割(名前入)
- (三) 西富田屋敷割(名前入)
- (四) 出來島・富田・佐古御絵圖

出來島繪圖 34×30 一鋪 三〇九

沼島之圖 40.2×35.7 一鋪 三三三

複製濟安宅大工島繪圖 166×104 一鋪 一〇五

安宅沖洲略圖 寬政二一 56×41 55×42 一鋪 一〇六

複製濟沖洲繪圖 99×188 一鋪 一〇九

天和三年御山下川筋繪圖并此節之繪圖 寬政二一 120×74.4 117×113.3 一通二鋪 一〇九

御山下川筋繪圖 98×121 一鋪 一三三

複製濟須本御山下之繪圖 224×228 一鋪 三三六(一)

須本御山下繪圖 56×79 54×42 一鋪 三三六(二)

淡路御山下繪圖 84×112 一鋪 三三〇(一)

複製濟須本御城下町屋敷之圖 233×184 187×181 一鋪 三三二(四)

複製濟須本之繪圖 天和三 192.4×192 一鋪 三三七(一)

洲本之圖 54×42 一鋪 一〇四

岩屋浦新波戸目路見畫圖 寬政三 54×33 55×41 二鋪 一〇六

水普請繪圖

複製濟(村々沼川堰留之圖) 228×276 一鋪 一三三

岩屋浦新防堤畫圖 寬政四 46.9×138.4 一鋪 一〇三

名東郡高崎村新川之圖 寬政一一 105.6×76.7 一鋪 一四〇

笹木野新田繪圖并笹木野村新田用水繪圖 110.5×67.9 88.8×85.5 二鋪 一三一

御花畠差圖 180×166 一鋪 一〇〇

德島藩養蠶所實際繪圖 明治一〇 250×180 一鋪 一三六

由良御滯船畫圖 55×79 49×79 一鋪 一三六

松平相模守様御玄關之圖 42×57 一枚 三三三(一)

松平新太郎様御玄關之圖并懸畫圖 50.5×36.5 一枚 三三三(二)

高野山光明院惣指圖 享保四 77×58.5 一枚 三三六

増上寺相繪圖 延寶六 122×110 一枚 一三三

雜

家康御代大名衆知行高辻 慶長一六 半 一冊 七六

公義御役人高御定之書附 享保八 一通 一七六

堂上官位次第 嘉永二 橫長半半 一冊 一四七

補略 文久四 橫長美半 一冊 一四五

(堂上官位次第) 慶應元 橫長美半 一冊 一四六

御代官所附 美四半 一冊 一八九(一)

諸家御預所明細書付 美四半 一冊 一八九(四)

藤堂家々則

半 一冊 一四三

高知藩政典 (一)

半 一冊 一四三

遷幸列書艸

横四半 一冊 七九

皇后宮行啓行粧 寛政六

横四半 一冊 七九〇

(近衛少將古書抄)

美 一冊 七九

位記沿革私考 文化六

二冊二通 六

位記沿革私考

美 一冊 七九

位記沿革私考

美大 一冊 一四七

續三宮傳

美大 一冊 一四七

仁孝天皇勅書之寫 天保一三

美半 一通 一三五

○風聞書

(姫路百姓騒動一件諸帳) 寛延元

美半 五冊 七九

土州百姓共豫州菅生山之寵越聞合書 寛政七

半 一冊 七九

清船朱心如飄着一件上書 容貌圖共 (乾隆帝代)

二通 二七

三宅様御家老渡邊登揚屋入被仰付候一件風聞書

一通 二七

三通り物綴 天保一一

五綴 二八九

東信漫錄 (一) 安政六 | 文久三

一冊 一四六

京信漫錄 (二) 元治元 | 慶應元

二冊 一四七

筑波山戦争記 元治元

一冊 一四八

風説書 幕末

半 四冊 一四六(一)

長防臣民合議書

半 一冊 一四六(一)

御裁許御返ニ付支藩井家老中士民中歎願書類

半 一冊 三三

於佐古村堀出候玉之圖并場所之繪圖 享保一六

二枚 一三九

共立商社訴訟一件 明治

一綴 一四七〇

國立銀行取調書 明治

一綴 一四七

旅行記 文政一〇

横長美半 一冊 一四六

日光參詣の記下書 文政一二

横長美半 一冊 一四七

(文書目錄) (明治)

半 一冊 八〇

徳島城天守閣復元模型 (写真)

附二

附錄 徵古雜抄

徵古雜抄 (數字は冊數)

43	40	37	34	31	28	25	22	19	16	13	10	7	4	1
制度	圖書	下野	下總	相模・武藏	飛騨	尾張外	豐前・肥後	伊豫	安藝	備前	伊勢	大和	近江	阿波
二	一	一	四	一	一	二	一	二	四	二	一	七	三	五
44	41	38	35	32	29	26	23	20	17	14	11	8	5	2
法律	古文書	下野外	甲斐・常陸	相模	越前外	尾張・美濃	筑前・筑後	土佐	石見	備中	播磨	紀伊	河内・和泉	山城
一	一六	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	二	一	七
45	42	39	36	33	30	27	24	21	18	15	12	9	6	3
傳記類	家記日記抄	陸奥	常陸	安房	加賀・能登	養老美泉辨	薩摩	筑前・肥後	讃岐	備後	丹波	志摩・伊勢	攝津	山城・近江
三	九	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64
雜文	傳疑	武家文書	征韓	古曆	過古帳	分限帳	歌	地理	藝術品	未製本	阿波	淡路	備中	讃岐	武藏	山城外	阿波	徵古雜抄阿波國分目錄
八	二	三	三	二	一	一	三	三	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一
47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
傳疑	武家文書	過古帳	古曆	歌	未製本	淡路	武藏	備中	山城外	備後	丹波	志摩・伊勢	攝津	山城・近江	備前	伊勢	伊豫	安藝
二	三	一	二	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	四
1494	1495	1496	1497	1498	1499	1500	1501	1502	1503	1504	1505	1506	1507	1508	1509	1510	1511	1512
徵古抄録	統編阿波八中	第一編	第七編	並大隊建御法	御新式ぬきかき将卒役会	三好記	火器新書簡訳	奇中統編	小作地所明細帳	明治二一	明治二〇年度自一月一至二月	惣勘定	借用金通帳	鳴門組	明治一七	横半半	第四集	徵古雜抄 (52頁追加)
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
1494	1495	1496	1497	1498	1499	1500	1501	1502	1503	1504	1505	1506	1507	1508	1509	1510	1511	1512

文書名 (文書記号)	整理番号	史料名	年代	原寸 (cm)	複製				備考
					判型	枚数	合成寸法 (cm)	請求 番号	
鎌須賀家文書(27A)	1185	淡路国絵図	正保3年	224×280	A0	3	111×141	60	
(同上)	1186-1	阿波淡路阿国絵図 (徳島城)	正保3年	400×354	B1	6	186×184	10	
(同上)	1186-2	阿波淡路阿国絵図 (阿波国)	正保3年	355×402	B1	6	179×202	39	
(同上)	1186-3	阿波淡路阿国絵図 (淡路国)	正保3年	276×186	B1	3	138×92	61	
(同上)	1187-1	阿波淡路阿国絵図 (淡路国)	*寛永	163×304	A1	3	83×152	40	
(鎌須賀家文書)	1197-2	阿波淡路阿国絵図 (阿波国)	*寛永	275×200	B1	3	138×100	62	
(同上)	1197-3	阿波淡路阿国絵図 (淡路国)	*寛永	132×271	B1	2	66×136	63	
(同上)	1197-4	阿波淡路阿国絵図 (阿波国)	*寛永	185×211	B1	2	93×106	64	
(同上)	1198-1	御阿国之図(阿波国)		279×262	B1	4	140×132	65	
(同上)	1198-2	御阿国之図(淡路国)		242×170	B1	2	121×86	66	
(同上)	1200-1	阿波御国図	*天和	203×83	B1	1	102×41	67	
(同上)	1200-4	阿波御国図	*天和	224×164	A1	2	114×83	68	
(同上)	1200-5	阿波御国図	*天和	202×112	B1	1	101×57	69	
(同上)	1200-6	阿波御国図	*天和	111×240	A1	2	56×120	70	
(同上)	1200-7	阿波御国図	*天和	262×332	B1	4	127×159	41	
(同上)	1202	阿波国産図		232×148	A1	2	117×74	71	
(同上)	1212-4	讃岐伊予土佐国端絵図 并裁廻絵図	元禄13年	339×82	A1	2	169×42	42	
(同上)	1212-6	讃岐伊予土佐国端絵図 并裁廻絵図	元禄13年	444×82	A0	2	223×42	11	
(同上)	1216-4	出来島富田左古御絵図	寛永18年	101×318	A1	2	51×139	43	
(同上)	1217-1	須本之絵図		189×254	B1	2	95×133	72	
(同上)	1217-3	須本御城下町屋敷之図		183×234	B1	2	92×117	44	
(同上)	1222-2	御城廻之重図		268×169	A1	3	135×80	73	
(同上)	1226	阿波之城廻絵図		205×276	B1	3	103×139	74	
(同上)	1227	御山下重図		363×362	B1	6	182×182	45	
(同上)	1228-1	阿波国清津城下之絵図	天和3年	276×202	B1	3	138×101	75	
(同上)	1228-2	御山下絵図	元禄4年	192×156	B1	2	97×78	76	
(同上)	1229-1	須本御山下之絵図		226×227	A0	2	114×115	77	
(同上)	1230-2	須本山上絵図	享和2年	117×388	B1	2	59×194	46	
(同上)	1254-2	目黒御預り御屋敷差図		208×219	A0	2	105×109	78	
(同上)	1312	村々沼川堰留之図		229×379	A0	3	114×190	47	
(同上)	1499	目黒御屋敷総絵図	寛政7年	300×250	B0	2	129×121	48	

文書名 (文書記号)	整理番号	史料名	年代	原寸 (cm)	複製				備考
					判型	枚数	合成寸法 (cm)	請求 番号	
(蜂須賀家文書)	1197-2	阿波淡路两国絵図 (阿波国)	*寛永	275×200	B1	3	138×100	6 2	
(同 上)	1197-3	阿波淡路两国絵図 (淡路国)	*寛永	132×271	B1	2	66×136	6 3	
(同 上)	1197-4	阿波淡路两国絵図 (阿波国)	*寛永	185×211	B1	2	93×106	6 4	
(同 上)	1198-1	御两国之図 (阿波国)		279×262	B1	4	140×132	6 5	
(同 上)	1198-2	御两国之図 (淡路国)		242×170	B1	2	121× 86	6 6	
(同 上)	1200-1	阿波御国図	*天和	203× 83	B1	1	102× 41	6 7	
(同 上)	1200-4	阿波御国図	*天和	224×164	A1	2	114× 83	6 8	
(同 上)	1200-5	阿波御国図	*天和	202×112	B1	1	101× 57	6 9	
(同 上)	1200-6	阿波御国図	*天和	111×240	A1	2	56×120	7 0	
(同 上)	1200-7	阿波御国図	*天和	262×332	B1	4	127×159	4 1	
(同 上)	1202	阿波国畫図		232×148	A1	2	117× 74	7 1	
(同 上)	1212-4	讃岐伊予土佐国端絵図 并裁廻絵図	元禄13年	339× 82	A1	2	169× 42	4 2	
(同 上)	1212-6	讃岐伊予土佐国端絵図 并裁廻絵図	元禄13年	444× 82	A0	2	223× 42	1 1	
(同 上)	1216-4	出来島富田左古御絵図	寛永18年	101×318	A1	2	51×139	4 3	
(同 上)	1217-1	須本之絵図		189×254	B1	2	95×133	7 2	
(同 上)	1217-3	須本御城下町屋敷之図		183×234	B1	2	92×117	4 4	
(同 上)	1222-2	御城廻之畫図		268×169	A1	3	135× 80	7 3	
(同 上)	1226	阿波之城廻絵図		205×276	B1	3	103×139	7 4	
(同 上)	1227	御山下畫図		363×362	B1	6	182×182	4 5	
(同 上)	1228-1	阿波国渭津城下之絵図	天和 3年	276×202	B1	3	138×101	7 5	
(同 上)	1228-2	御山下絵図	元禄 4年	192×156	B1	2	97× 78	7 6	
(同 上)	1229-1	須本御山下之絵図		226×227	A0	2	114×115	7 7	
(同 上)	1230-2	須本山上絵図	享和 2年	117×388	B1	2	59×194	4 6	
(同 上)	1254-2	目黒御預り御屋敷差図		208×219	A0	2	105×109	7 8	
(同 上)	1312	村々沼川堰留之図		229×379	A0	3	114×190	4 7	
(同 上)	1499	目黒御屋敷繪図	寛政 7年	300×250	B0	2	129×121	4 8	

雲
州
松
平
家
文
書
目
錄

雲州松平家文書目錄

藩祖御事蹟 一 桃修齊著	半	一冊	一	新番組列士錄下ノ上	美	一冊	三〇
藩祖御事蹟 二	半	一冊	二	新番組列士錄下ノ下	美	一冊	三
藩祖御事蹟 三	半	一冊	三	御用留一 齋貴公定安公御躰養子御隱居 御家督御元服一途御記錄一	美	一冊	三
藩祖御事蹟 四	半	一冊	四	御用留二	美	一冊	三
藩祖御事蹟 五	半	一冊	五	御用留三	美	一冊	三
藩祖御事蹟 附錄上	半	一冊	六	御用留四	美	一冊	三
藩祖御事蹟 附錄下	半	一冊	七	御用留五	美	一冊	三
舊藩事蹟第一卷 重村俊介著	半	一冊	八	御内用留上	美	一冊	三
舊藩事蹟第二卷	半	一冊	九	御内用留中	美	一冊	三
舊藩事蹟第八卷	半	一冊	一〇	御内用留下	美	一冊	三
舊藩事蹟第十一卷上	半	一冊	二	御書御返書留、京大坂共且御奉書書留御勤伺御	美	一冊	三
舊藩事蹟第十一卷下	半	一冊	三	勤留御直勤御口上留共	美	一冊	三
舊藩事蹟第十六卷	半	一冊	三	御意奉書御内用奉書留	美	一冊	三
舊藩事蹟第三十八卷	半	一冊	三	當職御用狀留上	美	一冊	三
舊藩事蹟第五卷 重村俊介著	半	一冊	三	添役御用狀共	美	一冊	三
舊藩事蹟 明治四年以降雜錄	半	一冊	三	當職御用狀留中	美	一冊	三
列士錄 凡例	美	一冊	六	添役御用狀共	美	一冊	三
列士錄 伊一守	美	五冊	七	當職御用狀留下	美	一冊	三
新番組列士錄上	美	一冊	六	添役御用狀共	美	一冊	三
新番組列士錄中	美	一冊	六	御番頭御用狀留	美	一冊	三
				京大坂御番頭御用狀留	美	一冊	三

奉札留 齋貴公定安公御筆養子御陰居 嘉永六

御家督御元服一途御記録十六

御國に御醫師御招ヨリ御元服濟迄前後御進物被
下物留御獻上物茂記之 〃 十七 嘉永六

御國に御醫師
御控手合帳 〃 十八 嘉永六

於御國御陰居御筆養子御願御家督之儀茂御願右
ニ付御誓詞御判元爲御見届御目付衆御越之節御
手合帳 〃 十九 嘉永六

御誓詞御判元爲御見届御目付衆御越之節於御國
御手合帳 〃 二十 嘉永六

御筆養子御内談相濟表向御所望之儀越後守様衆
に問合帳 〃 二十一 嘉永六

御筆養子表向御使
者御取替御手合帳 〃 二十二 嘉永六

御隱居御筆養子御家督ヨリ御元服濟迄之御使者
御口上書帳 〃 二十三 嘉永六

御筆養子御願書御進達御使者御取替御手續帳
〃 二十四 嘉永六

御筆養子表向御使
者御取替御手續帳 〃 二十五 嘉永六

御養子御願書被差
出候御手續帳 〃 二十六 嘉永六

御養子御願濟且御祝物就御取替御問合帳
〃 二十七 嘉永六

御引移御一件
取調御問合帳 〃 二十八 嘉永六

御引越之節御問合帳 〃 二十九 嘉永六
御筆養子御願濟御祝物御取交御問合帳 〃 三十 嘉永六

美 一冊 五

美 一冊 元

美 一冊 元

美 一冊 四

美 一冊 四

美 一冊 四

美 一冊 四

美 一冊 四

美 一冊 四

美 一冊 四

美 一冊 四

美 一冊 四

美 一冊 五

美 一冊 五

御入替ヨリ御元服迄御客之節御飾付帳
齋貴公定安公御筆養子御陰居御家督御
元服一途御記録 三十一 嘉永六

御入替ヨリ御元服 〃 三十二 嘉永六

御陰居御養子御家督御願濟御引越御手合帳
〃 三十三 嘉永六

御家督之御禮被仰上候ニ付御同姓様方其外御招
請御手合帳 〃 三十四 嘉永六

御家督之御禮被仰上候ニ付御同朋頭衆御腰物奉
行御腰物方御招請御手合帳 〃 三十五 嘉永六

御家督且初而御目見被爲濟候ニ付諸士御禮御式
帳 〃 三十六 嘉永六

御家督爲御祝義御料理被下置候御手合帳
〃 三十七 嘉永六

御家督之御禮被仰上候ニ付御先手衆御招請御手
合帳 〃 三十八 嘉永六

御家督被仰出候上御用番其外之御老中方に始而
御逢御手合帳 〃 三十九 嘉永六

御家督御禮被仰上候ニ付御奏者番衆御招請御手
合帳 〃 四十 嘉永六

御家督御禮前追々御城坊主被召呼候御手合帳
〃 四十一 嘉永六

御陰居御家督之御禮被仰上候御手合帳
〃 四十二 嘉永六

五節句月首御登城 〃 四十三 嘉永六

御願御手合帳 〃 四十四 嘉永六

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

美 一冊 五

御元服ニ付御奏者番衆御招請御手合帳
齊貴公定安公御筈養子御陰居御家督御
元服一途御記録 四十五 嘉永六 美 一冊 六

御元服ニ付御手充
衆御招請御手合帳 〃 四十六 嘉永六 美 一冊 六

御元服ニ付御同明頭衆御腰物奉行御腰物方御招
請御手合帳 〃 四十七 嘉永六 美 一冊 六

御元服御官位御祝義并御入部御祝義ニ付從御兩
親様殿様御招請且御餞別として從御前様御招請
茂御兼合御手合帳 〃 四十八 嘉永六 美 一冊 六

御仕官被爲濟候御祝義御整被遊候付而御當日御
家來獻上物帳 〃 四十九 嘉永六 美 一冊 七

御元服御仕官御祝義ニ付諸士御禮被爲請且御料
理御赤飯御酒吸物等被下候御式帳 〃 五十 嘉永六 美 一冊 七

口宜到來之節
御手合帳 〃 五十一 嘉永六 美 一冊 七

御引越之節
御行列帳 〃 五十二 嘉永六 横長美 一冊 七

御醫師御國々御招且御目付衆御判元爲見届御出
之節道中行列帳 〃 五十三 嘉永六 横長美 一冊 七

諸御口上書 〃 五十四 嘉永六 横長美 一冊 七

諸御返答 〃 五十五 嘉永六 横長美 一冊 七

口宜請取之御口上書 〃 五十六 嘉永六 横長美 一冊 七

齊貴公・定安公御筈養子御陰居御家督御元服一
途御記録惣目録 嘉永六 美 一冊 六

目錄 美 一冊 六

御上京一途惣目録 トモ一二二 美二八冊十四枚 七

御上落日記一 御便被仰付ヨリ江府御發駕迄 美 一冊 八

御上落日記二 江戸御發駕より大津まで 享保元 美 一冊 八

御上落日記三ノ上 御在京中 享保元 美 一冊 八

御上落日記三ノ下 御在京中 享保元 美 一冊 八

御上落日記四 京都御發駕より御着府御暇被仰出まで 美 一冊 八

御上落日記五 享保元 美 一冊 八

御上洛宿割帳六 享保元 美 一冊 八

御上洛記七 御饑別京都道中御意向御返礼物等 美 一冊 八

御上洛記八 御在京御勝手向棒物御往來道中江來御音
問被下物 享保元 美 一冊 八

御上洛記九 禁裏御職方御進獻物其外御進物被下物
享保元 美 一冊 八

御上洛記十 御歸國後御献上物被下物 享保元 美 一冊 八

御上洛記十一 御任官御歸國御祝儀到來物御返禮
享保元 美 一冊 八

御上洛記十二 道中御進物被下物 享保元 美 一冊 八

御上洛記十三 御歸府道中被下物 享保元 美 一冊 八

女院御所之図 美 一枚 八

上京手控一 江戸御暇之式、手前諸用并道中 寶曆五 横長美半 一冊 八

上京手控二 始之參、御暇參并酒饌頂戴 寶曆五 横長美半 一冊 八

上京手控三 在京諸用頭書、在京日記三ヶ寺參指ノ式 横長美半 一冊 八

上京手控四 御目見御返答女房奉書之式并府手前諸用
官位御禮之式并道中 寶曆五 横長美半 一冊 八

贈從三位松平定安公傳 (刊本)

A 5 判

一冊

100

出雲藩行政雜錄

一綴

101

出入捷覽 天保一一

40×15

一冊

1011

複製済 御城内繪圖面

安政三辰四月改 三丸惣御繪圖面

一鋪

1011

二丸御書院御廣間繪圖

一鋪

1011

出雲國十郡繪圖并十郡村附帳

88mm X 115mm

一鋪

1011

御城内惣間敷

一冊

1011

御三丸御指図

一鋪

1011

御本丸二ノ丸三の丸共三枚之内

一鋪

1011

蜂須賀家文書解題

蜂須賀家の略系

蜂須賀家は江戸時代を通じて、阿波・淡路兩國、表高二十五萬石餘を領知し、代々從四位下阿波守に敘任されるのを例とした大名であつた。領知の由來は、豊臣秀吉が天正十三年に四國の長曾我部元親を攻めた際、蜂須賀家政は將として之に當り、阿波國を收め、同年六月秀吉から阿波一國の領主に封ぜられて、渭山城（後に増擴して徳島と改む）に居を構えた時に始まる。その後、家政が關ヶ原役に徳川方に味方した爲、一旦大坂方に没収されたが、慶長六年に徳川家康から嗣子至鎮に再び阿波一國を與えられ、次いで大坂陣の後、功によつて、元和元年淡路一國を加封された。かくの如く至鎮は徳川家康の手で阿波・淡路兩國の領主に封ぜられたのであつて、このため蜂須賀家ではその系譜を至鎮を以て初代となしている。爾來、明治維新迄封を襲ねて、十四代茂韶に至つた。

以下蜂須賀家歴代の年譜を略記していさゝか本目錄の參考に資することとする。尙ほ代數の數え方は同家の家傳による。

先々代 正勝 小六

元龜元年越前朝倉攻めの時から豊臣秀吉の麾下に屬し、天正九年姫路龍野城主となり五萬石餘を領した。天正十三年阿波に轉封される際、願出て之を嗣子家政に賜はつた。天正十四年歿、享年六十一

先代 家政 小六 蓬庵

永祿元年生、天正十三年豊臣秀吉より阿波に封ぜられて十七萬五千七百石を領し、渭山城に居り、之を擴張して後に徳島と改めた。文祿元年・慶長二年兩度の朝鮮出兵に參陣し、のち慶長五年石田三成が徳川家康と事を構えんとした際、之に與しなかつたため、阿波國を沒收され、剃髮して蓬庵と號し、高野山に入つた。關ヶ原役後、徳川家康から阿波國を與えられることになり、之を嗣子至鎮に賜ふ様に願つて許された。慶長十九年・元和元年の再度の大坂陣には、家康に従つて大坂城を攻めた。元和六年至鎮歿し、その嗣子忠英が年少で襲封したので、幕府の命によつて蓬庵は之を後見した。以來死に至るまで藩政に與り、施政に見るべきものがあつた。寛永十五年歿、享年八十一。

初代 至鎮 千松丸 豊勝 豊雄 忠吉

天正十四年生、慶長六年阿波國のうち十七萬五千七百石を受封し、慶長八年阿波國悉くを領して、十八萬六千七百五十石を食んだ。慶長九年從四位下阿波守に敘任された。元和元年大坂陣の功によつて淡路一國三萬二千九百七十八石六斗を加賜された。同四年二十三ヶ條から成る法令を發し藩法の根基を定めた。之を「表書」または「壁書」といふ。同五年福島正則罪を得てその封地安藝・備後を收められた際、至鎮は廣島城に赴いて事に備えた。元和六年歿、在職二十一年、享年三十五。

二代 忠英 千松丸 正鎮 忠鎮

慶長十六年生、元和六年襲封、幼少のため祖父蓬庵が後見の任に當つた。同九年從四位下阿波守に敘任され、名を忠鎮と改めた。寛永三年、封内の戸口を検し、同四年淡路國の檢地を行い、又後見蓬庵より七ヶ條の法令が出された。さきの至鎮の二十三ヶ條の「表書」に對して之を裏書と稱する。寛永十年名を忠英と改めた。寛永十七年、郡毎に郡奉行一人を置き、仕置家老―裁許奉行―郡奉行の民政の組織を整え、

越えて正保元年には元締を置いて財政を掌らせた。之を小仕置とも云う。慶安元年から三年の間藩士の俸祿十分の三の借上げを行った。承應元年歿、在職三十三年、享年四十二。

三代 光隆 千松丸 至政

寛永七年生、承應元年襲封、明暦元年勘定奉行を置き、また萬治二年には國奉行を廢して郡奉行をして事に當らしめた。寛文六年歿、在職十五年、享年三十七。

四代 綱通 千松丸 正能

明暦二年生、寛文六年襲封、叔父隆重が後見に當つた。延寶六年歿、在職十三年、享年二十三。

五代 綱矩 熊太郎 龍之 正備 操山

寛文元年生、二代忠英の第四子隆矩の長子である。延寶六年綱通の養子となり、襲封。隆重引續いて後見に當つた。同年隆重に新田分五萬石を分知、また天和元年には初めて銀札を發行した。在職五十一年にして享保十三年致仕し、操山と號した。享保十五年歿、享年七十。

六代 宗員 正貞

寶永六年生、綱矩の第六子で、初め分知隆重の養子隆長（忠英四男隆喜の長子）の養子となり、隱岐守に任ぜられたが、享保十年綱矩の嗣子歿するに及んで還つてその養嗣子となつた。爾後分知分五萬石は再び本領に入つた。享保十三年襲封、同二十年歿、在職八年、享年二十七。

七代 宗英 勘次郎 隆泰 潜外

貞享元年生、二代忠英の四男隆喜の第三子。享保二十年宗員の養嗣子となり、襲封。在職五年にして致仕し、剃髪して潜外と號した。寛保三年歿、享年六十。

八代 宗鎮 松之助 頼珍 正泰

享保六年生、高松藩主松平頼恒の弟で、元文四年宗英の嗣子が歿したため養嗣子となり、名を宗鎮と改めた。宗英致仕の後、襲封した。寶曆元年嗣子卒したため、五代綱矩の第五子隆壽の長子重隆を養嗣子としたが、同三年病を以て嫡位を辭したので、同四年弟頼央を養嗣子とし、在職十六年にして致仕し、木工頭と稱した。安永九年歿、享年六十。

九代 至央 鐵松 頼央

元文元年生、宗鎮の弟で松平頼央といつた。寶曆四年、宗鎮の養嗣子となり、襲封したが、在職僅か六十餘日を以て歿した。享年十九。

十代 重喜 岩五郎 義居 政胤

元文三年生、出羽秋田藩新田分領主佐竹義道の第四子で、寶曆四年至央の養嗣子となつて襲封し、名を重喜と更めた。藩政の改革を企てたが士民之に服せず、明和六年幕府はその職を罷めしめた。在職十六年にして致仕し、大炊頭と稱し、奢侈して爵を醫した。享和元年歿、享年六十四。

十一代 治昭 千松丸 喜昭

寶曆十一年生、明和六年襲封、翌年名を治昭と更めた。親戚井伊直幸・松平頼恭等之を後見し、重喜の新法を罷めて、國政を宗鎮の舊に復したが、安永―寛政の間、大いに財政困窮して、經營に腐心した。文化十年致仕、在職四十六年、文化十一年歿、享年五十八。

十二代 齊昌 千松丸 昭昌

寛政七年生、文化六年齊昌と改名し、同十年襲封、天保十四年致仕した。在職三十一年、彈正大弼と稱して、なお齊裕の後見を勤めた。安政元年後見を罷め、安政六年歿、享年六十五。

十三代 齊裕 松菊

文政四年生、十一代將軍徳川家齊の第二十二子で、文政十年齊昌の養嗣子となつた。天保六年齊裕と改名し、同十四年襲封。明治元年歿、在職二十六年、享年四十八。

十四代 茂韶 氏太郎 千松丸

弘化三年生、齊裕の二男であるが、安政二年兄死するに及んでその嗣子となり、千松丸と稱した。萬延元年茂韶を名乗り、明治元年勅命によつて襲封した。翌二年封土を奉還して徳島藩知事となる。大正七年歿、享年八十二。

蜂須賀家文書の概要

本文書の點數は、約三千冊・四千通餘である。これを内容的にみると、藩初以降、江戸時代中期までの藩法並に藩政關係の史料が中心をなしている。即ち、家政・至鎮・忠英三代藩主の直裁と仕置家老によつて裁量運營された阿波藩前期の藩政の實體を明かにする文書が比較的多く、その點での史料的價値が高い。また中世的遺制の色濃い藩士の知行形態に關する史料も注目される。但し、檢地帳その他地方支配おかなに關する史料や藩の財政的史料並に領内の特産物たる藍關係の史料は殆ど皆無に近く、後期の藩政改革についての史料も乏しい。

尚ほ、此等近世前期に係る史料は、原本並に時代寫が少く、謄寫整理されたものが多い。それらが何時、如何なる意圖の下に作製されたか

は未だ明らかでないが、後期の藩政改革の必要から數次に亘つて行はれ、特に寶曆五年・天保八年頃に大規模な謄寫と整理が行はれたものであることは、ほぼ確實である。その際數種の文書を大型の袋に納め、表記を施しているが、同封中の文書は必ずしも内容的に關連があるわけではなく、寧ろ年代的規準に基いて行はれたと考えられる節がある。従つて、本目錄の作製に當つては、これらを一點毎に別記し、その内容に従つて分類を行い、保存には原形を留めることゝした。

尙ほ、本目錄中、文書目錄〔八〇〕は、明治初期に作成された本文書の一部の目錄であつて、その大半は現存するが、散逸したのも尠くない。以下本文書の内容を、目錄の大項目別に概述しておく。

(1) 領知關係史料

元和三年秀忠以降、歴代將軍から下された領知判物の寫と之に添えられた領地目錄（原本）を初め、將軍の代替の度に前代の判物を公儀へ返上する際に藩から提出した郷村高辻帳・出目新田島高帳等がある。享保十六年の郷村御帳、高井町歩人數御改御帳之辻當時御高物成帳〔奥書〕によれば、當時の阿淡兩國に於ける古田島出目と新田島の合計は九萬六千八百石に及んでいるから、表高二十五萬七千石の實高は四十萬石を超えていたことが知られる。

その他、阿淡海陸道度之帳は正保四年公儀へ提出した處、明暦の江戸大火によつて焼失した爲、同年大目付より再提出を命ぜられた節の控であり、村付帳は藩の郡奉行がその所轄の郡村を郷村帳と對照調査して新村を區別したものである。

また「分知」の項では既述の通り、延寶六年五代綱矩が遺封を繼ぐに當り、新墾田收納のうち五萬石を伯父飛驒守隆重に分知した關係の文書のほかに、二代忠英から嫡子因幡守（光隆）へ部屋住領として三萬石を頒つた際のものを、便宜收録してある。

(2) 藩侯關係史料

こゝには蜂須賀家の系譜類と歴代藩主及びその家族の公私に亘る生活に關係ある史料を收めた。系譜としては、寛永・寛政兩度の家譜差出の際の取調に作成したものが多く、弘化頃迄の記事がある系譜〔六九〕は内容的にもかなり整備され、寛政重修諸家譜の記事と二三の異同を見出す。「歴代書狀」の項には私信に屬するものを收め、書狀の様式によつたものでも、藩政についての指示を與へたものは藩政の「直裁」の項に収録した。御日記の項に入れた留書類は、公儀への勤仕・訪客の接待其他藩主の公的生活につき藩主自ら書留めたものである。將軍の御内書は年頭及三季（端午・重陽・歳暮）における答禮狀である。その他寛永の將軍上洛御供の際の算用帳等、史料としての價値を認むべきものがある。

(3) 法制關係史料

法制史料は、幕法・藩法・裁許所・元居書拔等に分つたが、藩法では元和四年に至鎮が出した二十三ヶ條の「表書」（壁書）と寛永四年に忠英の後見たりし蓬庵の出した七ヶ條の「裏書」を大宗として、寛永―天和にかけて數多くの法令が布かれているのを見る。阿波藩における法と政治の基本的な方向が定まつたのは、此の時期であつたと思はれる。そして六代宗員の襲封後間もない享保十五年に、既出の法令の再確認と集成とが行はれたようである。尙ほ、本文書では同一の法令が數種の簿冊に重複して謄寫収録せられているものも多く、同時の法令が分出している場合もあるから、それらを整理すれば、同藩の前期における法制と行政組織とを明かにすることが出来ると思はれる。

裁許所は、主として土庶の公事を掌る役所で、「裁許所公事出入落着御帳」は判例集として注目すべきものである。また寛文年中の「大坂商人大和屋金銀出入公訴一件」は法制史料としても商業史料としても内容に富んでいる。諸元居書拔は、主として役場毎に整理された先例の

集成で、藩政の大綱を示すものとして重要である。

藩制の中には、役人帳を始めとする職制關係の史料と、その各部署における勤方心得・勤用記等を収めた。藩士の組織については、軍事の項をも參看していただきたい。

(4) 藩政關係史料

「直仕置」の項には、藩主が自ら政務を決裁した文書を収めた。従つてその内容は、軍事・藩務・家士賞罰・民政等多岐に亘つているが藩の官僚組織の完備せざる以前には、些末の事項に渉るまで領主の直裁によるところが多かつたことが窺われる。

「草案」は慶長より寶曆に至る歴代の政務・交際・家事等に關する書狀の案文を記録したもので、内容は多岐に亘るが、史料價値が高い。御仕置所は、家老中から任せられる仕置家老によつて構成された最高行政機關で、徳島のほか淡路の洲本と藩主在府中は江戸にも設置された。従つて御仕置帳の類は藩政史料として重要な位置を占めるものである。

元々所は、既述の通り正保元年に設置された財政擔當者の機關であるが、その記録の残存するものは殆どない。郡所關係では、寛永から寶曆にかけての記録のほか、海部・美馬・三好地方の民政史料が注目される。戸口・貢祖・財政等に關する史料は極めて乏しいが、戸口關係では元祿・寛政の切支丹類族調、貢祖關係では山年貢・小物成の史料、財政關係では天和元年以後、特に享保十五年以降の銀札史料と、後期における財政建直しのための建策類等が注目される。

なお、普請奉行の項には作事關係の史料のみを掲げたが、後述の通り普請に要する夫役徵發の關係から高役並に軍役が普請奉行の管掌であつた。それらについては軍事の軍役と藩士の高役の項を參看していただきたい。

(5) 軍事關係史料

この項では、一旦有事の際の出陣を用意する軍法及び陣中法度、更に戦法の具體的史料たる陣立書、これらに伴う藩士の軍役に關する史料が中心になつてゐる。その場合、戦争として外敵に對するものと共に領民の内亂が豫想されている點に留意すべきである。近世において官僚化の傾向を辿つた武士は、もとより本來の戰鬪的性格を併せ持つており、殊に中世的遺制の色濃い阿波藩では少くとも制度的にその傾向が強く、次の藩士關係史料中の地方知行形態、特に高役制との關連において成立つてゐる軍役制についての史料は検討を必要とするであらう。なお「大坂濫妨人之帳」(慶長二十年)は、各藩士毎に輩下の素狀の概略を記したもので、公儀差出の控と考えられ、近世初頭における幕府及武士の内情を窺わせるところがある。

(6) 藩士關係史料

阿波藩における家中の知行形態は特徴あるものである。即ちその知行狀には、知行分の村名、百姓の人付、諸役負擔の役付等が記載されており、拜知水帳には一筆毎の地籍と百姓の名が記されていて、土地と百姓を併せ宛行う典型的な地方知行の形態がとられている。そして、この知行石高と百姓數とが、知行人が負う役高並に軍役高を規定し、同時に百姓の身分關係と賦役負擔も之によつて定まるのである。「御家中知行高御役高帳」は、藩士全員について之を記した分限帳の一種であり、高役・役銀の項には之を管掌した普請奉行の諸記録と、家中個人に對する役定の宛狀及びその代金納に關する史料が收められている。

(7) 交通關係史料

主として海上交通に關する史料で、領主の參觀用の關船を初めとする船數帳・船組帳・御役人帳等藩の水上交通制度を窺うに足る。このほ

か領内の港湾に寄港した諸藩の御城米船等を記録して幕府に提出した届帳の控等がある。

(8) 寺社關係史料

寺社領と由緒に關するもの若干に過ぎないが、驛路寺の制度は特徴的である。なお、藩侯の菩提寺については藩侯の吉凶の項を参照されたい。

(9) 繪 圖

國圖としては正保三年の阿波淡路兩國繪圖があり、阿波の分は寫、淡路の分は控である。此の外にも二、三の國圖が存するが、何れも年代未詳である。これらの繪圖の中、「二〇一八、三〇〇、三三三、三三六―七」は天保十四年に御櫓から出たものである旨の袋書がある。次に國境繪圖としては土佐・讃岐・伊豫との境圖がみられ、御城繪圖としては徳島・洲本のものがあり、城郭・堀普請等の際に公儀に伺い出た控が含まれている。

國元御屋敷として、徳島・洲本・富田・沼島・檜物町・寺嶋・出來島・岩屋浦・福良浦・江井浦・小名木澤・岡崎等の別邸の繪圖がある。

江戸の拜領屋敷は、始め辰之口の上屋敷と芝にあつたが(時期不詳)、更に元和四年には呉服橋に、寛文四年には目黒に下屋敷を拜領した。元祿十一年辰之口と呉服橋の屋敷が類焼したため鍛冶橋に上屋敷を賜つた。後文政十年には數寄屋橋御門に上屋敷の添地をうけ、一方深川にも下屋敷を拜領しており、これらの屋敷繪圖が存する。なお此等の御屋敷についての記録は、藩侯のうちの屋敷の項に収録されている。

城下圖としては御山下繪圖として徳島及びその周邊出來島・佐古・富田等の繪圖があり、城下の武家屋敷圖も若干ある。

なお本文書の繪圖中には裁許繪圖や出入の際の村繪圖の類は全く存しない。

「阿波藩民政資料」との関係

次に本文書と活版史料としての「阿波藩民政資料」(大正五年刊、上・下二冊)との関係を一言して置く。この書は、大正二年及び同四年の兩度徳島縣で開催した民政資料展覽會に出品した史料の中から、特に民政を中心として編纂・印刷したものであり、史料所藏者は蜂須賀家を始め、縣下の諸舊家・役所に及んでいる。今、蜂須賀家所藏のものについて之をみれば、内容の印行されているものは「御代々様御書寫」「兩國法式之冊」「以奉御家老御兩國へ被申出書付」外二點であり、二十數點が参考として書名のみ掲げられている。書名のみものは、年代の明記がないので正確には云えないが、その大部分は同一内容と考えられる類似表題の史料を本文書中に發見出来る。内容の紹介されている前記五点の原本は今のところ發見できない。それらと同一或は類似の原題をもつ史料は、本文書中にも二、三あるが、内容に於て一致しない。然し例えば「兩國法式之冊」から抄録してある條文は、「法度書」〔三〇〕〔二二〕「御代々御法令」〔二四〕等の中に見出すことができる。但し條項・字句の異同が尠なくない。この異同の根源を俄に明かにすることはできないが、兩史料共に書寫本と考えられるので、本文書中の各種寫本の校合勘考により正確を期すべきと考える。それは前掲の「法度書」と「御代々御法令」の二書中の同文間に既に異同の存することによつても明かである。次にこれを諸家所藏の史料についてみる時、本文書と内容の重複するものにあつては上意の傳達される過程及びその間に生ずる出入を知るに便であり、土地・民政・産業(藍其他)等の各項は本文書の内容を補足するものが多い。

要するに、大正度の史料展に出品された蜂須賀家文書の大部分は、本書中に現存するが、その一部はその後に散逸したものと認められるのであつて、藍關係の史料中に袋書のみあつて現物の存しないものがある例などをも考え合わせると、比較的近い時期に、或る程度の散逸が行われたものゝ如くである。

「徴古雜抄」及び「史料雜纂」について

巻尾に附録として略目録を収載した徴古雜抄は、小杉樞郎博士（天保五—明治四三）の自筆稿本である。これは周知の如く阿波國に關する古文書・古記録の書寫・抄寫を中心とする全一九〇冊に及ぶ史料蒐録で、小杉博士が五十餘年の歲月を費して蒐成したものである。蜂須賀家文書と直接の關係はないが、阿波國に關する史料集であるから便宜こゝに附載した。この中、阿波國正編及び續編の一部は、大正二年日本歴史地理學會の手によつて上梓されており、その巻末に總目次が掲載されているので、今はこれを割愛し單に概目を示すにとどめた。

本稿本の體裁は必ずしも一樣でないが、大半は能筆な博士の墨書で、隨所に朱書が加えられ、茶格子の紋表紙で製本されており、表題は多く表紙に「徴古雜抄 阿波一」の如く記してあるが、中には題箋を附したのものもある。各巻初丁と終丁に「杉園藏」と陰文象刻の中形長方形の博士の藏書印が捺されている。用紙は不統一で、形態も一定していないが、その概略を記せば次の如くである。

阿波國正編 堅二六糎、横一八・五糎、阿波國續編 堅二三糎、横一六糎、其の他 堅二六・五糎、横一九・二糎。

副本は雁皮薄様の美濃判假綴本であるが、火災に罹つて一部焼け焦げており、又内容も不完全なものである。

「史料雜纂」は蜂須賀家において、藩内外の維新史料を中心に、幕末—明治初年の藩政・軍事・財政及び産業・經濟關係の記録を集録したもので、まゝ原本を綴り込んだ部分もあり、恐らく同家の家史編纂のために作られたものと思われる。

○本文書目録の作成に當つたのは、中井信彦・原島陽一・安沢秀一・藤村潤一郎・浅井潤子・鶴岡実枝子の六名である。

雲州松平家文書解題

本文書は舊松江藩主出雲松平家の舊藏に係るもの。松江藩は現在島根縣松江市を城下町とした石高十八萬六千石の藩である。寛永十五年初代藩主松平直政の襲封以來、二代綱隆の時代に國內新開地を分封し、弟上野介に廣瀬藩三萬石、同右近太夫に母里藩壹萬石をあたへたが、以後二百六十餘年、幕末に至るまで山陰地方の雄藩として繁榮した。今、藩主松平家の略系を示せば次の如くである。

- 第一代 高眞院 直^{ナホ}政^{マサ}（寛永十五年二月^ノ治世五十一年）
- 第二代 寶山院 綱^{ツネ}隆^{タカ}（寛文六年四月^ノ治世十年）
- 第三代 隆元院 綱^{ツネ}近^{チカ}（延寶三年五月^ノ治世三十年）
- 第四代 源林院 吉^{ヨシ}透^{トホ}（寶永元年二月^ノ治世二年）
- 第五代 善隆院 宣^{ノブ}維^ヰ（寶永二年十月^ノ治世二十七年）
- 第六代 天隆院 宗^{ムネ}衍^{ノブ}（享保十六年十月^ノ治世三十七年）
- 第七代 大圓庵 治^{ハル}郷^{サト}（明和四年十一月^ノ治世四十年）
- 第八代 月潭院 齊^{ナリ}恒^{ツネ}（文化三年三月^ノ治世十七年）
- 第九代 直指庵 齊^{ナリ}齋^{コシ}（文政五年五月^ノ治世三十二年）

第十代 松江院 定安（嘉永六年九月治世二十六年）

第十一代 松徳院 直應（明治五年三月治世六年）

本史料目録に收められた文書は戦後昭和二十二年に松平家から史料館が譲り受けたもので總數百餘點にすぎない。恐らくは戦災を免れたものとして、同家舊藏文書の一部分にしかあたらないと思われる。例えば、本目録の示す如く重村俊介著「舊藩事蹟」にしても、松平藩諸制度全般にわたる詳細な藩政史料であるにもかゝらず第一卷、第二卷、第八卷、第十一卷、第十六卷、第三十八卷の殘卷九冊を數えるのみであるし、又「出雲藩行政雜録」も同藩に於ける地方掛、支配方、内用方、知行引高、役人定、組目付、納戸、札銀通用手形等にわたる貴重な行政記録であるが、惜むらくはこれも一部にすぎないものゝ如くである。本文書以外或は他處に同藩直接史料の殘存ありや否や、今後の調査がまたれる次第である。なお京都大學法學部法制史研究室に「松江藩出雲國令」が架藏せられており、昭和十九年に（小早川欣吾氏の解題を附して）、「近世藩法資料集成第三卷」として印行されている。これは本史料目録收藏の藩政關係史料の缺を補うものである。

本文書の中で比較的まとまつたものとしては、同藩の家臣の職歴、給與關係等の履歴を記した「列士録」、新番組列士録」六十冊餘が注目される。これは同藩家臣團研究にあつて不可缺の文書と云えよう。又、第九代齊齋（齊貴）が隱居し、新たに嘉永五年作州津山藩より掣養子として入部した十代定安公の家督相續の事情を記した「齊貴公定安公御掣養子御陰居御家督御元服一途記録」六十冊餘も、藩主相續に關する一切の網羅記録として注意さるべきであらう。

なおこの藩は、他藩と同様に藩財政の危機が屢々おとずれ、享保から明和に至る三十四年間に十五回も凶作、饑饉に見舞れたと云はれている。これに對して六代宗衍時代の小田切尙足の財政改革、ついで七代治郷の朝日丹波登用による藩政改革など人の知る處である。又、財政危

機打開のためとられた治水開墾、植林、畜産、特に砂鐵の專賣制、人參の販賣獨占が知られており、更には天明年間の百姓一揆等、藩政史上問題の多い藩である。直接これらの事項に觸れるものではないが、この藩の財政收支を示した「出入捷覽」一帳は、特筆すべき史料である。即ち、明和四年から天保十一年にわたる財政收支を詳細に記したもので、米穀の現物收納高、同金納高、種貸米、小物成等の各事項にわたつて記され、支出部門も藩主私經濟、江戸入用、江戸臨時入用、御國入用、同臨時入用高に分かれ、その收支決算を表示したものである。従つて、各時代の收支の増減が一見してわかり、同藩研究の上の基礎史料の一つである事は云ふまでもない。この外に「御城内圖面」「出雲國十郡繪圖并十郡村附帳」等の繪圖面が含まれている。

○本文書目録の作成に當つたのは吉永昭である。

昭和三十年三月二十五日 印刷
昭和三十年三月三十一日 発行

東京都品川区豊町一丁目一、一三八番地

発行者
編集者

史料館

東京都千代田区西神田二丁目一七番地

印刷所 明治印刷株式会社